

2022 年度入学生用
(令和 4 年度)

医学部医学科要覧

教育目的・履修要項・シラバスなど



大阪公立大学医学部医学科

目次

I. カリキュラムマップ

1. カリキュラムマップ、マイルストーン、ロードマップ -----
2. 専門科目ナンバリングコード -----

II. 履修要項

1. 学科等の名称、卒業時の学位、入学定員 -----
2. 学年・学期・授業期間等 -----
3. 授業科目の種類 -----
4. 授業科目の単位、単位制 -----
5. 履修課程と履修上の注意 -----
6. 科目ナンバリングのルール -----
7. 履修登録 -----
8. 成績評価・試験 -----
9. 成績評語と GPA 制度・CAP 制 -----
10. 既修得単位等の認定 -----
11. 定期試験受験心得 -----
12. 成績評価についての異議申立 -----
13. 休講・欠席について -----
14. 副専攻 -----
15. 他大学との単位互換制度・単位互換科目 -----
16. 学籍について -----
17. 修学上の配慮・支援について -----
18. 教育学習支援基盤「ていら・みす」での学修記録の記入 -----

III. 履修規程

1. 学科目 -----
2. 履修・評価 -----
3. 再試験 -----
4. 進級・留年 -----
5. 在学年限 -----
6. 卒業の認定 -----

III. 授業時間割表

IV. 専門科目シラバス

第1学年科目

1. 医学のための統計学 -----
2. 医療倫理学 -----
3. 医学序論 -----
4. 遺伝と遺伝子 -----

- 5. 細胞生物学 -----
- 6. 細胞と組織の基本構造と機能 -----
- 7. 発生学 -----
- 8. メディカル・データ・サイエンス 1 -----
- 9. 医学研究推進コース 1 -----
- 10. 物理学の臨床医学への応用 -----
- 11. 早期臨床実習 1 -----
- 12. 早期臨床医学入門（早期診療所実習） -----

第 1・4 学年科目

- 1. 心肺蘇生法実習 -----

I 医学部医学科

カリキュラムマップ

医学部は 1944 年 4 月に設立された大阪市立医学専門学校から始まり、大阪市立医科大学を経て、大阪公立大学医学部となり、現在大阪市にある唯一の大学医学部です。最近の医学医療のめざましい進歩に対応するために、阿倍野キャンパスの整備・充実が行われ、1998 年の新学舎の完成とともに、医学部の専門教育に対する施設、設備が一新されました。基礎医学部門に関連した実習設備、臨床実習前に模擬的に医療体験、実習を行うスキルスシミュレーションセンター(SSC)などは、全国でトップレベルに達しています。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ディプロマ・ポリシー（学位の授与基準）

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

医学部学舎玄関前には三女神像が並んでいます。この女神像は「智・仁・勇」の三つの基本理念を示しています。すなわち、本を抱く「智」の女神のように医学に対する旺盛な向学心を持ち、薬壺を持つ「仁」の女神のように人への尊厳を有し、月桂樹を手にする「勇」の女神のように医療を実践するための決断の勇氣を持つ医療人を育成することが、本学の使命です。この「智・仁・勇」を有する医療人を育成するという使命を果たすために、大阪公立大学医学部卒業時に獲得すべき実践的能力を、以下の通りコンピテンスとして決めました。このコンピテンスを修得するものに、学士の学位が授与されます。



◆大阪公立大学医学部医学科コンピテンス◆

- | | | |
|---|---------------------------|---------|
| 1 | プロフェッショナリズム | (智・仁・勇) |
| 2 | 医学知識と問題対応能力 | (智・仁・勇) |
| 3 | 診療技能と患者ケア | (智・仁・勇) |
| 4 | コミュニケーション能力 | (智・仁・勇) |
| 5 | チーム医療の実践 | (仁) |
| 6 | 医療の質と安全管理 | (仁) |
| 7 | 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力 | (智・仁・勇) |
| 8 | 科学的探究 | (智) |
| 9 | 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 | (智・仁・勇) |

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ディプロマ・ポリシーで定めたコンピテンスを獲得するために、医学部医学科では全学共通教育・基幹医学教育（主に 1～3 年生）、社会医学教育ならびに臨床医学教育（主に 4～6 年生）を行っています。将来、「智・仁・勇」を備えた医師になることを自覚させるために、入学後早期から、医療現場に触れさせる機会を創出しています（早期臨床実習）。

4～6 年生には Clinical Clerkship (CC) を実施し、学生が医療チームの一員として実際の診療に参加し、より実践的な臨床能力を身に付け、科学的思考に基づいた判断力・問題解決能力を備えた医師を育成する事を目的としています。

（基幹教育）

基幹共通教育は将来、社会人として役立つ素養を身につける（プロフェッショナリズム【智・仁・勇】）とともに、専門教育に対応できる下地を学ぶものと位置付けています。

（基礎医学教育）

基礎医学では、まず人体の構造と機能のしくみを分子レベルから個体レベルまで総合的に学びます。次に病気の原因、本態やその機序を系統的に学習します（医学知識と問題対応能力【智・仁・勇】）。また、細菌、ウイルス、医動物などの病原性、その感染機序、ならびに生体の免疫機構を学び、さらに薬物療法の基礎を学びます（医学知識と問題対応能力【智・仁・勇】）。

（社会医学教育）

社会医学では、健康事象の地域的・経年的分布、生活環境要因の健康への影響、地域・国・世界の保健システムとその役割（生涯にわたって共に学ぶ姿勢【智・仁・勇】）、および法的問題と関わる心身の変化、反応、病的現象や障害などを学習します（医学知識と問題対応能力【智・仁・勇】）。さらに将来、医師として必要な幅広い知識と教養を身につけます（プロフェッショナリズム【智・仁・勇】）。

修業実習は 3 年生の終わりの 6 週間、基礎・社会医学系教室や研究室に学生を配属して実施され、教員の指導のもとに、特定のテーマについて学生が自ら研究します（科学的探究【智】）。

（臨床医学教育）

臨床系の臓器別講義は 4 年生から始まります（医学知識と問題対応能力【智・仁・勇】）。その後、臨床実習に必要とされる技能を学習し（診療技能と患者ケア【智・仁・勇】）、共用試験 CBT(知識を問う試験)、及び OSCE(態度、技能を問う試験)を受験します。

試験合格後、外來臨床実習（外來型 CC）に進みます（コミュニケーション能力【智・仁・勇】）。5 年生では、全ての診療科を 5 つのユニットに分け、ローテートする参加型臨床実習（ユニット型 CC）を行います（診療技能と患者ケア【智・仁・勇】）。ユニット型 CC では、臨床研修医になった時に、少しでも臨床を円滑に実践できるように講義時間を最小限に留めて、実習時間を増やしています（コミュニケーション能力【智・仁・勇】）。

6 年生になると、さらに幅広い臨床技能を修得し、医療現場での経験を充実させるために、医学部附属病院、ならびに教育関連病院での選択型 CC があります（社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力【智・仁・勇】）。選択型 CC は前期 6 週間、後期 6 週間の 2 回実施しています。選択型 CC を海外の病院で受ける事もできます（生涯にわたって共に学ぶ姿勢【智・仁・勇】）。選択型 CC における教育関連病院および診療科の選択と調整に関しては、学生の自主性を尊重しています（プロフェッショナリズム【智・仁・勇】）。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

本学では、「智・仁・勇」を有する医師・医学研究者となりえる素地を持った人材を求めています。
自ら学習課題を設定し、その課題に向かって勉学に励める人の入学を希望します。

＜入学者選抜の基本方針＞

医学科では、一般入試のほかに学校推薦型選抜、総合型選抜の 3 つを行っています。いずれの入試においても、大学共通テストで、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

【一般入試（前期日程のみ）】

個別学力検査では、医学科の学修に十分対応できる知識に基づいた思考力、判断力、表現力を確認します。さらに、個別面接を行い、「智・仁・勇」を有する医師・医学研究者になりうる資質についても確認します。

【学校推薦型選抜】

地域医療枠への入学を希望する人を対象に行います。大阪府出身者*で高等学校長の推薦を受けた人に対し、提出書類、面接・小論文等で、将来、大阪の医療・医学に貢献しようとする志を確認します。

*大阪府出身者の定義については、募集要項で確認してください。

【総合型選抜】

医学、生命科学に深い関心を持つ人を対象に実施します。提出書類、面接・口述試験等で、勇気をもって真理の探究を行い、かつ共感できる高いコミュニケーション能力を発揮し、将来の医学をリードしたいという気概を確認します。

★★★★★★★★★★★★★★

新入生へのメッセージ

★★★★★★★★★★★★★★

本学では、いち早く、基礎系・臨床系をシームレスなチュートリアル形式とし、また、低学年から医療現場に触れさせるため、1～3 年生に早期臨床実習を実施しています。

高学年では参加型臨床実習（CC）に力を入れ、6 年生には選択型 CC として、国内のみならず海外の連携病院での CC を推進し、希望者には海外の連携病院を積極的に紹介しています。

学生主導で 2000 年（平成 12 年）に創設された国際交換学生サークル ISAO は、本学部の目指す“世界力”に共鳴した学生の意欲を象徴するものです。

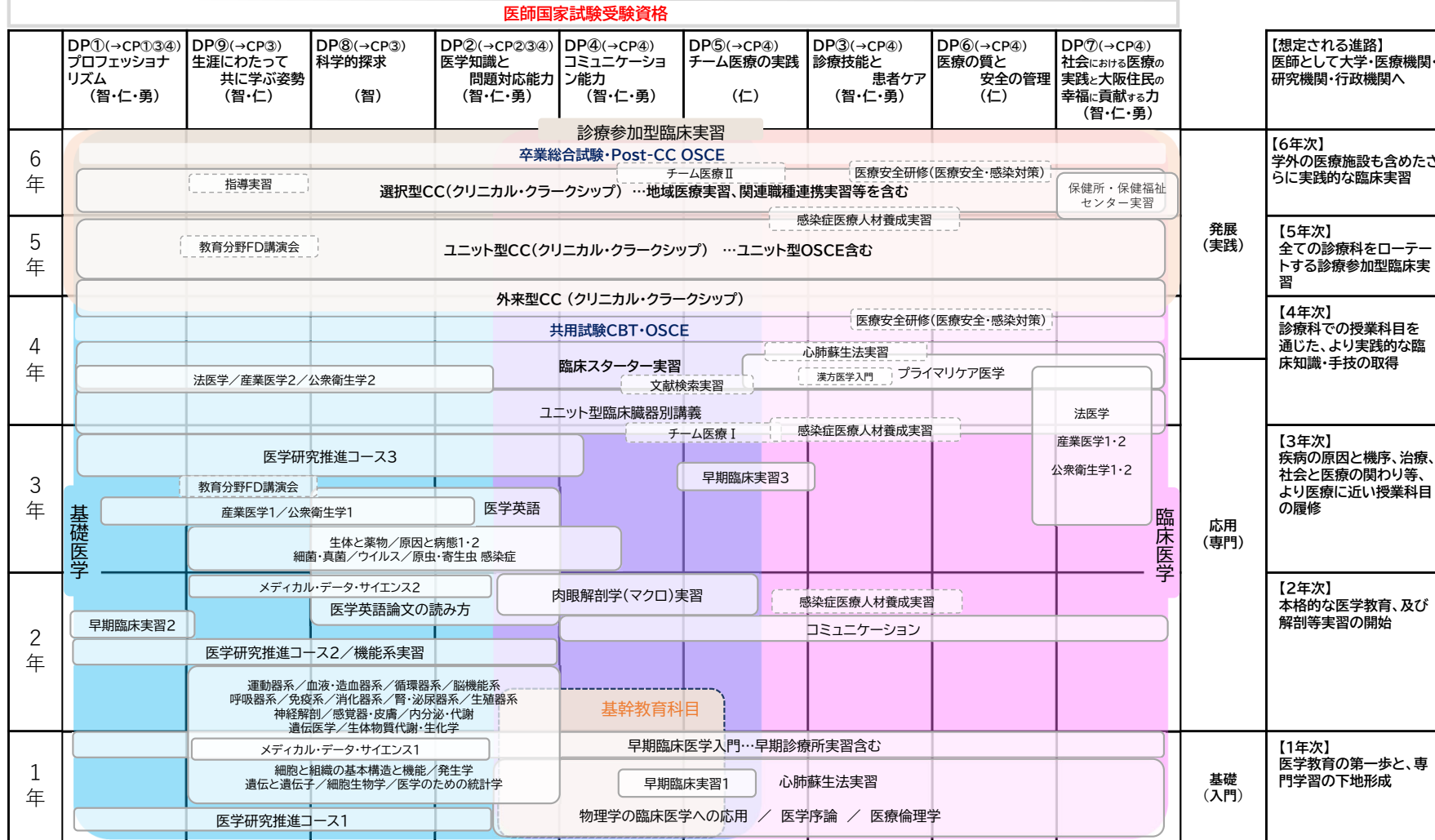
また、公立大学の先陣を切って医学教育学講座が設置され(2004 年)、卒後臨床研修センターおよびスキルスシミュレーションセンター(SSC)を運営するとともに、総合診療センターで臨床教育の実践を行っています。

とくに SSC は、充実した設備とスタッフを有し、医療手技等の修練の場を若手に提供する類まれな施設として、内外で高い評価を得ており、卒前・卒後の実習・講習にも多用されています。

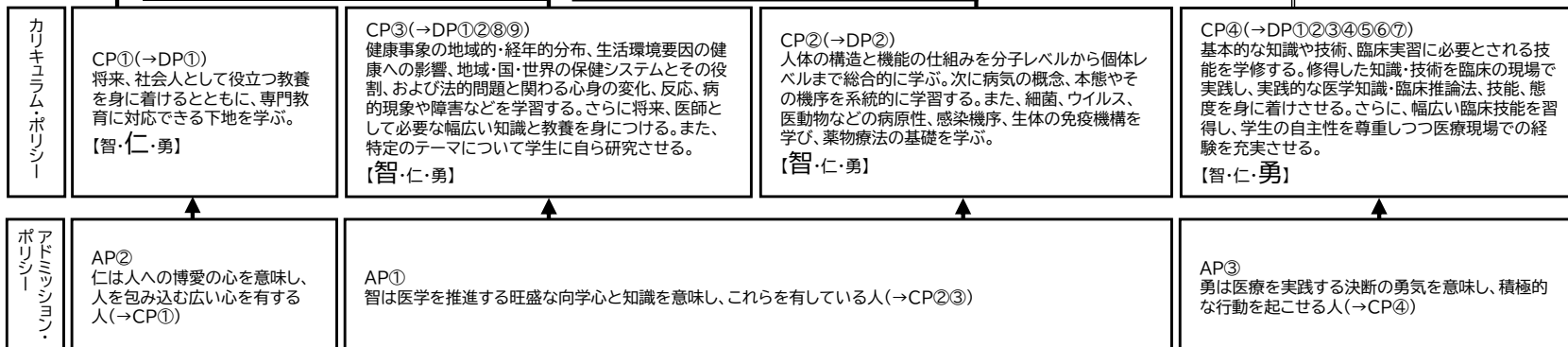
最後に、皆さんに理解しておいて欲しいことがあります。医学科では専門教育が始まる 1 年生から大変な勉強量をこなさなければならないということです。しかも 5 年生進級前には全国共通の試験を受けなければなりませんし、当然卒業時には国家試験が待っています。

学位プログラムを履修していく上で、これらに十分耐えられるような知力・体力はもちろん、それに加えて精神力を身につけていくことが、非常に大切な要素であることをぜひ理解しておいてください。





DP:ディプロマ・ポリシー



医学部医学科のマイルストーン

コンピテンスの領域	コンピテンスの領域	コンピテンシ	Level 1	Level 2	Level 3（卒業レベル）	Level 4（advance）
1. プロフェッショナリズム	1. プロフェッショナリズム 大阪公立大学医学部学生は、卒業時に医療専門職としての自己役割を理解し、高いモラルを持って患者中心の医療を実践できる。	1）患者および家族のニーズを認識し、患者中心の医療を提示、実践することができる。	患者の基本的権利、自己決定権について説明できる。時代や社会の皮革に伴い患者・家族の意識やニーズが常に変化していることが理解できる。	国内外において他者に対して、利他的、共感的、誠実な行動をとることができる。	診療の場において、患者および家族のニーズを理解し、患者中心の医療を提示することができる。患者の精神的、身体的苦痛、プライバシーに配慮した行動をとることができる。	患者および家族のニーズを認識し、患者中心の医療を提示、実践することができる。
		2）医療専門職として社会における自己役割を理解し、継続的に学習することができる。	医療専門職に課せられる法的・倫理的責務について概説することができる。人の命と健康を守る医師の役割や素人すべき職責について継続的に考えることができる。	最新・最善の医療の提供を社会から必要とされていることを理解できる。膨大な医学知識の中から専門的な知識を入手でき、問題解決型の学習を行うことができる。	医療専門職として、自らの課題を明確にし、解決のプランを審察し、解決のための行動をとることができる。	学内に留まらず、学外でも知識・技術の研鑽の場を求めて行動できる。
		3）高いモラルを持ち、屈性のある行動をとることができる。	社会人としての一般常識・倫理観を身に付け行動することができる。グループ学習等において、常に同僚や関係者に対して配慮した行動をとることができる。	規則的な生活習慣、時間管理を行うことができる。他者に対して感謝と敬意を払うことができる。	社会人・医療専門職としての一般常識、法的・倫理的責務に基づき行動できる。研究倫理についても学び、それに基づいた行動ができる。	
2. 医学知識と問題対応能力	2. 医学知識と問題対応能力 大阪公立大学医学部学生は、卒業時に必要な知識を身に付け、幅広い症候、病態、疾患に対応できる。	1）診療や研究の基礎となる基礎医学の領域の基礎知識を修得し、応用することができる。		医学研究の進歩に関心を持ち、正確かつ最新の情報を新たに取り入れ、理解し活用することができる。	一般的な診療の場面で、基礎医学の知識をもとに症状・疾患を推察し説明することができる。	最新の基礎医学領域に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図ることができる。
		2）診療や研究の基礎となる臨床医学の領域の基礎知識を修得し、応用することができる。	各器官の正常な構造・機能とその成立・維持に関わる情報伝達機構を説明できる。病気の発症と進展に関わる病因・病態生理を説明できる。	モデルコアカリキュラムに記載のある主な疾患については病院、病態生理のみならず、症候と診断、治療法についても理解することができる。各分野の知識を統合し、症候・病態から疾患への適切な臨床推論を行うことができる。	一般的な診療の場面で、臨床医学知識を疾患の予防、診断、治療に活用できる。各種疾患に対する診療ガイドラインを活用することができる。チームの一人として診療やカンファレンスに参加することができる。	複雑な病状の患者においても、疾患の症候・病態をベースに臨床医学知識と身体診察から得られた結果を統合して、予防、診断、治療に活用できる。
		3）診療や研究の基礎となる社会医学の領域の基礎知識を修得し、応用することができる。	社会医学領域の基礎知識を有し、関連する法則や理論を説明することができる。	ライフステージや生活環境に応じた健康管理と環境・生活習慣改善について説明することができる。保健統計、医療・福祉、介護の制度、人の死に対する法則について概説できる。	地域医療、地域保健の活動に参画し、その必要性を理解し、社会医学の知識を地域や公衆衛生の現場において活用することができる。	健康課題を取り扱う様々な社会的要因を考え、調査研究の方法を学ぶとともに、将来の医療人としての役割を理解し行動することができる。
		4）医療の基礎である生命科学、行動科学などの関連領域の知識と原則を理解し、医療の現場で実践することができる。	生命科学の科学、個体の反応、基本的な病因と病態、人の行動と心理に関する基礎知識を有し、概説することができる。	生命科学、行動科学などの関連知識をもとに症状・疾患を理解、説明することができる。	一般的な診療の場面で、生命科学、行動科学などの関連領域の基礎知識を活用することができる。	生命科学、行動科学などの関連領域の知識を日々アップデートし、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠を加味して解決を図る。
3. 診療技能と患者ケア	3. 診療技能と患者ケア 大阪公立大学医学部学生は、卒業時に患者の苦痛や不安感に配慮し、診療、臨床手法を実践することができる。	1）論理的で体系的な医療面接、身体診察を行うことができる。	診療に必要な病歴を構成する要素を提示できる。身体所見から得られる情報を病態を推察して説明できる。	模擬患者に対して医療面接、身体診察を行うことができる。包括的な身体診察を行うことができる。	一般的な診療の場面で、系統的かつ適切な医療面接、診断仮説に基づいた身体診察を行うことができる。得られた情報から検査計画を立案できる。	複雑な背景を持った患者に対しても、問題解決型の医療面接、身体診察を行うことができる。得られた情報から検査計画を立案できる。
		2）頻度の高い疾患に関して、適切な鑑別診断と治療戦略を立てることができる。	主な症候の鑑別診断リストを挙げることができる。	提示された臨床事例に対して臨床推論、判断、治療計画の立案を行うことができる。	一般的な診療の場面で、収集した医学情報から適切な臨床推論、問題に即した検査計画、得られた情報を統合した診断・治療計画を行うことができる。また、それらの内容を適切に診療記録に記載することができる。	複雑な背景を持った患者に対しても、収集した医学情報から適切な臨床推論、問題に即した検査計画、得られた情報を統合した診断・治療計画を行うことができる。
		3）基本的な臨床手技や緊急救命処置を安全に実践することができる。	臨床手技を行う適応と禁忌を挙げ、基本的な手技についての実施方法を述べることができる。	診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる技能と態度に関する学習・評価項目に記載のある診療技能を模倣的に行うことができる。	一般的な診療の場面で、診療チームの一員として基本的な臨床手技や緊急救命処置に参加し、指導医の監督のもと基本的臨床手法を実行することができる。緊急性を評価し、適切な初期対応ができる。	基本的な臨床手技や緊急救命処置を的確に実施することができる。また、後進を指導することができる。
4. コミュニケーション能力	4. コミュニケーション能力 大阪公立大学医学部学生は、卒業時に患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築くことができる。	1)患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援することができる。	コミュニケーションの方法と技術の基本。コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響について概説できる。コミュニケーションを通じて良好な人間関係を構築することができる。	模擬患者に対して、患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援することができる。	患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援することができる。一般的な診療の場面で、診療チームの一員として患者からインフォームドコンセントを得ることができる。	複雑な背景を持った患者に対しても、患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援することができる。
		2)患者や家族の抱える問題を身体・心理・社会的側面から把握することができる。	患者と良好な関係を築くためには、患者の個別的な背景を理解することが重要であること、家族の持つ価値観や社会的背景が多様であり得ること、医療が患者中心の視点に立つて行われなければならないことについて理解することができる。	模擬患者に対して、患者や家族の抱える問題を身体・心理・社会的側面から把握し、抱える問題点を抽出、整理することができる。	患者とのコミュニケーションを通じて、患者や家族の抱える問題を身体・心理・社会的側面から把握することができる。	患者とのコミュニケーションを通じて、患者や家族の抱える問題を身体・心理・社会的側面から把握することができる。問題点の抽出、改善策の提示を行うことができる。
		3)適切な症例プレゼンテーションを行える。	適切なプレゼンテーションの要点項目、基本について説明できる。	授業やワークショップ、実習などさまざまな場面で定型的なプレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。	臨床現場において、担当患者の申し送り、適切な症例プレゼンテーションならびに質疑応答を行うことができる。	学外においても、適切な症例プレゼンテーションと質疑応答を行うことができる。
		4)患者の状態について、報告・連絡・相談ができる。	患者の状態について、報告・連絡・相談する必要性を理解できる。日常生活の中で、関係者に適切に報告・連絡、相談を行うことができる。	模擬患者の状態について、報告・連絡、相談すべき内容を説明できる。患者情報の学級発表と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	一般的な診療の場面で、診療チームの一員として患者の状態について、報告・連絡、相談をすることができる。正しい診療録を記載することができる。	複雑な背景を持った患者に対しても、患者の状態について、報告・連絡・相談をすることができる。正しい診療録を記載することができる。
5. チーム医療の実践	5. チーム医療の実践 大阪公立大学医学部学生は、卒業時に医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人の役割を理解し、連携できる。	1)医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。	チーム医療の意義、医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明することができる。	臨床事例を通じて、医療専門職間の連携の重要性、各医療職の役割、医師の役割について理解し説明することができる。	病院、保健所、介護施設等の現場で、診療や業務チームに加わり、他のメンバーと情報を共有し、連携を図ることができる。多職種チームで協働することができる。	医療の課題を設定し目標を明確化したうえで、多職種のチームで協働することができる。必要な経験を集めてチームを結成することができる。
		2)チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。		グループ学習において、リーダーおよびメンバーとしての自分の役割を果たし、チームの機能を高めることに貢献できる。	病院、保健所、介護施設等の現場で、診療や業務チームに加わり、他のメンバーと情報を共有し、適切な指示を行うことができる。	
6. 医療の質と安全の管理	6. 医療の質と安全の管理 大阪公立大学医学部学生は、卒業時に患者にとって良質かつ安全な医療を理解し、医療従事者の安全と健康に配慮できる。	1)医療の質と患者安全の重要性を理解する。	医療の質と患者安全確保のための基礎知識を説明できる。一般的な医療事故の発生のメカニズムと防止策を説明できる。	患者安全の遵守のために、医療者のとるべき行動を述べることができる。医療機関における医療安全管理体制のあり方、各種委員会の役割について概説することができる。	診療や業務の現場で、患者の安全確保に基づいた行動および医療安全上の問題を報告・連絡・相談できる。	医療の課題を設定し目標を明確化したうえで、多職種のチームで協働することができる。必要な経験を集めてチームを結成することができる。
		2)医療事故等の予防と事後の対応を知る。		事例から医療事故のレベルを判断し、発生時に必要な対応を列挙できる。	医療機関における医療事故等の予防と事後の対応について説明することができる。医療安全管理者のチームに参加し意見を述べることができる。	医療事故制度を理解し、指導医のもと実践できる。医療事故を防止するための対応策を提案することができる。
		3)医療従事者の安全と健康管理（予防接種や計画的事故への対応を含む。）を理解し、自らの安全と健康管理に努める。	労働衛生の3管理「作業環境管理」「作業管理」「健康管理」について説明できる。	医療従事者における具体的な危険性を列挙できる。標準予防策の必要性、標準し事故等の対応方法を説明できる。	標準予防策を実践できる。一般的な診療の場面で、医療従事者の安全と健康管理を理解し、自らの安全と健康管理に努めることができる。	医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。医療の質の向上に努めることができる。
7. 社会における医療の実践と大抵住民の幸福に貢献する力	7. 社会における医療の実践と大抵住民の幸福に貢献する力 大阪公立大学医学部学生は、卒業時に医療人として求められる社会的役割を理解し、地域医療、大阪の医療に貢献する力を獲得する。	1)保健医療に関する法規、制度の目的と仕組みを理解する。	地域における保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間連携の必要性を説明できる。	地域における保健・医療・福祉・介護の分野間および多職種間連携の必要性を説明できる。	保健所、保健福祉センター等の現場に参加し、具体的な地域保健・福祉対策について理解、議論することができる。	大阪府の医療計画、地域医療構想について概説することができる。
		2)大阪の地域医療に携わり、指導/監督のもとで診療に参加できる。	診療所見学習等を通じて医療従事者と交流し、大阪の地域医療に携わり、地域医療の現状、プライマリケアの必要性を知ることができる。	本学附属病院内外において、指導医の問診やカルテ記載などの外業務の補助を行うことができる。	大阪府下の教育関連病院において診療チームに参加し、医療現場で必要となる診療技能や患者およびチームメンバーとのコミュニケーション能力を習得し、地域医療連携の実践について学ぶ。	
		3)大阪の医療の現状、課題を理解する。	大阪の医療の現状、特性、課題を理解し、それらの基盤を引き起こす地域的問題点と社会医療の実態を理解することができる。	地域包括ケアシステムの概念、地域における救急医療、在宅医療、へき地医療、災害医療について概説することができる。	大阪市消防局救急隊員と行動を共にし、大阪市における救急医療の実態を理解することができる。大阪府下の介護施設実習を通じて、地域医療の仕組み、実態について理解することができる。	
8. 科学的探究	8. 科学的探究 大阪公立大学医学部学生は、卒業時に医学及び医療における科学的アプローチを理解できる。	1)医学及び医療上の疑問点を挙げることができる。適切にエビデンスを収集できる。	提示された課題について図書館およびデータベースを利用して関連する文献の収集を適切に行うことができる。	事例学習を通じて、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の理解の深化につなげることができる。	自ら課題を設定し、その課題について関連する国内外の文献を収集し、必要に応じて文献の内容が信頼できるものであるか吟味することができる。こうして得られた情報について結果を正しく解釈し、それが実際の医療にどう反映できるかを考察することができる。適切にエビデンスを収集でき診療計画を立案できる。	臨床上の疑問点に関して、臨床研究を立案し、必要な情報収集を適切に行うことができる。また、結果をまとめて発信することができる。
		2)科学的探究方法を理解する。	論文を読み解くための基本となる基礎知識を学習し、提示された文献を読み、内容を簡潔にまとめることができる。研究の計画から発表までの概要を説明することができる。	提示された課題について、教員の指導のもと研究（実験）の目的を理解し、それを行うことができる。また、得られた結果について正しく解釈、評価することができる。		
		3)研究の意義を理解し、参加、協力できる。	研究意義の重要性を理解し説明できる。実習において必要な作業を教員の指導のもと実習室に記載された手順に沿って行うことができる。	提示された課題について、教員の指導のもと研究（実験）を行うことができる。また、研究について内容を簡潔にまとめたレポートを作成することができる。		
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 大阪公立大学医学部学生は、卒業時に生涯にわたって自律的に学び、共に研鑽し、相互に教育することができる。	1)国際的な広い視野をもち、急速に変化・発展する医学知識を学び、吸収できる。	生涯学習の重要性を説明できる。各分野における国内外の最先端の研究について学び、生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	学習中に直面した疑問に対して、海外からの情報を収集し解決のために活用することができる。患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語を用いて、簡単な問診を行うことができる。	国際的な広い視野をもち、急速に変化・発展する医学知識を収集し医療に活用することができる。患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語を用いて、簡単な問診を行うことができる。	
		2)同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあうことができる。	同級生とのグループ学習において、自分の考えをメンバーに向けて提示することができる。また、自分の考えに対する他のメンバーからの指摘や意見を受け入れ、尊重することができる。	指導実習において後輩等に対して適切な指導を行うことができる。同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあうことの重要性に基づき行動できる。	臨床実習環境で同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあうことの重要性に基づき行動できる。	医療の質の向上のために絶えず学習し、他の医療者とともに研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続けることができる。

医学部医学科のカリキュラムロードマップ

No	学年	科目名	DP1 プロフェッショ ナリズム	level	DP2 医学知識と問題 対応能力	level	DP3 診療技能と患者 ケア	level	DP4 コミュニケー ション能力	level	DP5 チーム医療の実 践	level	DP6 医療の質と安全 の管理	level	DP7 社会における医 療の実践と大阪 住民の幸福に貢 献する力	level	DP8 科学的探究	level	DP9 生涯にわたって 共に学ぶ姿勢	level	科目名
1	6	選択型CC（クリニカル・クラークシップ）	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	選択型CC（クリニカル・クラークシップ）
2	6	保健所・保健福祉センター実習			○	3					○	3			○	3	○	3	○	3	保健所・保健福祉センター実習
3	6	指導実習	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3					○	3	指導実習
4	6	チーム医療実習Ⅱ	○	3			○	3	○	3	○	3	○	3							チーム医療実習Ⅱ
5	6	医療安全研修（医療安全・感染対策）	○	3	○	3	○	3			○	3	○	3	○	3					医療安全研修（医療安全・感染対策）
6	5	ユニット型CC（クリニカル・クラークシップ）	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	ユニット型CC（クリニカル・クラークシップ）
7	5	教育分野FD講演会	○	3															○	3	教育分野FD講演会
8	5	外来型CC（クリニカル・クラークシップ）	○	2	○	2	○	2	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	○	3	外来型CC（クリニカル・クラークシップ）
9	4	臨床スターター実習	○	2	○	2	○	2	○	3					○	3	○	3	○	3	臨床スターター実習
10	4	プライマリケア医学			○	1	○	1							○	2					プライマリケア医学
11	4	漢方医学入門			○	1	○	1													漢方医学入門
12	4	文献検索実習			○	1	○	1			○	2							○	2	文献検索実習
13	4	チーム医療実習Ⅰ	○	2	○	1	○	1	○	2	○	2									チーム医療実習Ⅰ
14	4	ユニット型臨床臓器別講義	○	2	○	1	○	1					○	2			○	2	○	2	ユニット型臨床臓器別講義
15	4	産業医学Ⅰ・産業医学Ⅱ	○	1	○	2							○	2			○	1	○	1	産業医学Ⅰ・産業医学Ⅱ
16	4	公衆衛生学Ⅰ・公衆衛生学Ⅱ	○	1	○	2									○	2	○	2	○	2	公衆衛生学Ⅰ・公衆衛生学Ⅱ
17	4	法医学													○	2	○	2	○	2	法医学
18	4	医療安全研修（医療安全・感染対策）									○	2	○	2							医療安全研修（医療安全・感染対策）
19	3	医学研究推進コースⅢ	○	2	○	1			○	2	○	2					○	2	○	2	医学研究推進コースⅢ
20	3	医学英語							○	2									○	2	医学英語
21	3	早期臨床実習Ⅲ	○	2			○	1	○	2	○	2	○	2	○	1					早期臨床実習Ⅲ
22	3	生体と薬物			○	1	○	1					○	1			○	1	○	2	生体と薬物
23	3	原因と病態Ⅰ			○	1	○	1	○	1							○	1	○	2	原因と病態Ⅰ
24	3	原因と病態Ⅱ	○	2	○	1	○	1									○	1	○	2	原因と病態Ⅱ
25	3	細菌・真菌感染症			○	1	○	1	○	1							○	1	○	2	細菌・真菌感染症
26	3	ウイルス感染症			○	1	○	1	○	1							○	1	○	2	ウイルス感染症
27	3	原虫・寄生虫感染症			○	1	○	1	○	1					○	1	○	1	○	2	原虫・寄生虫感染症
28	3	教育分野FD講演会	○	2															○	2	教育分野FD講演会
29	2	肉眼解剖学（マクロ）実習			○	1											○	1	○	1	肉眼解剖学（マクロ）実習
30	2	早期臨床実習Ⅱ	○	2			○	1	○	1	○	2			○	1					早期臨床実習Ⅱ
31	2	医学英語論文の読み方			○	1			○	1							○	1	○	1	医学英語論文の読み方
32	2	医学研究推進コースⅡ			○	1											○	1			医学研究推進コースⅡ
33	2	機能系実習			○	1											○	1			機能系実習
34	2	情報リテラシー	○	2	○	1			○	1	○	1									情報リテラシー
35	2	コミュニケーション	○	2	○	1			○	1	○	1			○	1					コミュニケーション
36	2	ビジネスマナー	○	1	○	1			○	1	○	1	○	1							ビジネスマナー
37	2	メディカル・データ・サイエンスⅡ															○	1	○	1	メディカル・データ・サイエンスⅡ
38	2	生体物質代謝・生化学			○	1											○	1	○	1	生体物質代謝・生化学
39	2	遺伝医学	○	1	○	1			○	1					○	1	○	1	○	1	遺伝医学
40	2	運動器系	○	1	○	1	○	1									○	1	○	1	運動器系
41	2	血液・造血器系	○	1	○	1	○	1	○	1							○	1	○	1	血液・造血器系
42	2	循環器系	○	1	○	1	○	1									○	1	○	1	循環器系
43	2	神経解剖	○	1	○	1	○	1	○	1	○	1					○	1	○	1	神経解剖
44	2	脳機能系	○	1	○	1	○	1									○	1	○	1	脳機能系
45	2	呼吸器系	○	1	○	1	○	1									○	1	○	1	呼吸器系
46	2	免疫系			○	1	○	1							○	1	○	1	○	1	免疫系
47	2	消化器系	○	1	○	1	○	1	○	1							○	1	○	1	消化器系
48	2	感覚器・皮膚	○	1	○	1	○	1	○	1							○	1	○	1	感覚器・皮膚
49	2	内分泌・代謝	○	1	○	1	○	1	○	1							○	1	○	1	内分泌・代謝
50	2	腎・泌尿器系	○	1	○	1	○	1	○	1							○	1	○	1	腎・泌尿器系
51	2	生殖器系	○	1	○	1	○	1									○	1	○	1	生殖器系
52	1	早期診療所実習	○	1			○	1	○	1	○	1	○	1	○	1			○	1	早期診療所実習
53	1	早期臨床医学入門	○	1	○	1	○	1	○	1					○	1			○	1	早期臨床医学入門
54	1	医学研究推進コースⅠ	○	1					○	1							○	1	○	1	医学研究推進コースⅠ
55	1	心肺蘇生法実習					○	1			○	1							○	1	心肺蘇生法実習
56	1	医学序論	○	1	○	1			○	1	○	1	○	1			○	1	○	1	医学序論
57	1	医療倫理学	○	1	○	1					○	1	○	1							医療倫理学
58	1	情報リテラシー（全学）	○	2	○	1			○	1	○	1									情報リテラシー（全学）
59	1	メディカル・データ・サイエンスⅠ															○	1	○	1	メディカル・データ・サイエンスⅠ
60	1	遺伝と遺伝子	○	1	○	1											○	1	○	1	遺伝と遺伝子
61	1	細胞生物学			○	1											○	1	○	1	細胞生物学
62	1	細胞と組織の基本構造と機能	○	1	○	1											○	1	○	1	細胞と組織の基本構造と機能
63	1	発生学			○	1											○	1	○	1	発生学
64	1	物理学の臨床医学への応用			○	1							○	1	○	1	○	1	○	1	物理学の臨床医学への応用
65	1	早期臨床実習Ⅰ	○	1			○	1	○	1	○	1	○	1	○	1	○	1			早期臨床実習Ⅰ
66	1	医学のための統計学															○	1	○	1	医学のための統計学

2022年 医学部医学科 専門科目ナンバリングコード

4～6桁目(分野):BAM…Basic Medicine、SOM…Social Medicine、CLM…Clinical Medicine

1桁目	2～3桁目	4～6桁目	7桁目	8桁目	9～10桁目	11桁目	12桁目	
部局コード 学士課程 :A	部局コード 医学部:MX 医学部医学科: MA	学問分野	レベルコード (1～4)	科目区分	連番	使用言語 日本語:J	授業形態 講義:1 実習:4	授業科目
A	MA	BAM	1	1	01	J	1	医療倫理学
			1	1	02		1	医学のための統計学
			1	1	03		1	遺伝と遺伝子
			1	1	04		1	細胞生物学
			1	1	05		4	細胞と組織の基本構造と機能
			1	1	06		1	発生学
			1	1	07		1	医学研究推進コース1
			2	1	08		1	生体物質代謝・生化学
			2	1	09		4	医学英語論文の読み方
			2	1	10		1	遺伝医学
			2	1	11		4	運動器系
			2	1	12		1	血液・造血器系
			2	1	13		1	循環器系
			2	1	14		1	神経解剖
			2	1	15		1	脳機能系
			2	1	16		4	医学研究推進コース2
			2	1	17		1	呼吸器系
			2	1	18		1	免疫系
			2	1	19		1	消化器系
			2	1	20		4	感覚器・皮膚
			2	1	21		1	内分泌・代謝
			2	1	22		1	腎・泌尿器系
			2	1	23		4	生殖器系
			2	1	24		4	肉眼解剖学(マクロ)実習
			2	1	25		4	機能系実習
			3	1	26		1	生体と薬物
			3	1	27		1	原因と病態1
			3	1	28		1	原因と病態2
			3	1	29		1	細菌・真菌感染症
			3	1	30		1	ウイルス感染症
			3	1	31		1	原虫・寄生虫感染症
			3	1	32		4	医学研究推進コース3
		SOM	1	1	33		4	メディカル・データ・サイエンス1
			3	1	34		1	メディカル・データ・サイエンス2
			3	1	35		1	産業医学1
			3	1	36		1	産業医学2
			3	1	37		1	公衆衛生学1
			3	1	38		1	公衆衛生学2
			3	1	39		1	法医学
	MX	CLM	1	1	01		1	医学序論
	MA		1	1	40		1	物理学の臨床医学への応用
	MX		1	1	02		4	心肺蘇生法実習
	MA		1	1	41		1	早期臨床医学入門
			1	1	42		4	早期臨床実習1
			2	1	43		4	早期臨床実習2
			3	1	44		4	早期臨床実習3
			2	1	45		4	コミュニケーション
			3	1	46		1	医学英語
			3	1	47		1	ユニット型臨床臓器別講義
			4	1	48		4	臨床スターター実習
			4	1	49		1	プライマリケア医学
			4	1	50		4	外来型CC(クリニカル・クラークシップ)
			4	1	51		4	ユニット型CC(クリニカル・クラークシップ)
			4	1	52		4	選択型CC(クリニカル・クラークシップ)
			4	1	53		4	保健所・保健福祉センター実習

Ⅱ．履修要項

1．学科等の名称、卒業時の学位、入学定員

学科	学位	定員
医学部医学科	学士（医学） (Bachelor of Medicine)	90 名※

※2022 年度は大阪府指定医療卒 5 名を加えた 95 名

2．学年・学期・授業期間等

学 年：1 年次 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日

2 年次 4 月 1 日～12 月 31 日

学 期：1 年次 前期：4 月 1 日～9 月 24 日、後期：9 月 25 日～翌年 3 月 31 日

2 年次 前期：4 月 1 日～9 月 24 日、後期：9 月 25 日～12 月 31 日

休業日：

- ① 日曜日および土曜日（授業調整日除く）
- ② 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日（祝日授業日を除く）
- ③ 「授業時間割表」に記載の休業日
- ④ その他学長が必要と認めた日

詳しい授業期間および試験期間等は、各年度当初に定められる「学事日程」によります。「学事日程」は、毎年度、本学 Web サイトなどで確認してください。

ただし、担当教員が必要と認めたときは、その他の期間に授業や試験が行われることがあります。

3．授業科目の種類

授業科目は、基幹教育科目、専門科目、資格科目および副専攻科目に区分されています。基幹教育科目は主に 1 年次・2 年次において学び、多くの専門科目は 2 年次以降に学びます。

全学部・学域に共通した基幹教育科目は総合教養科目、初年次教育科目、情報リテラシー科目、外国語科目、健康・スポーツ科学科目、基礎教育科目に分かれます。

○科目区分および開設部局（特例科目を除く）

科目区分			開設部局
基幹教育科目	総合教養科目		国際基幹教育機構
	初年次教育科目		
	情報リテラシー科目		
	外国語科目	英語	
		初修外国語	
	健康・スポーツ科学科目		
基礎教育科目			
専門科目			各学部・学域
資格科目		教職科目	国際基幹教育機構
副専攻科目			各学部・学域 国際基幹教育機構

（１）専門科目の科目名、単位数、配当年次および必修・選択の区分は、各学科の標準履修課程表を参照してください。

（２）基幹教育科目、資格科目、副専攻科目の履修については、「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」等を参照してください。

4. 授業科目の単位、単位制

大学における授業科目の単位においては、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。単位の計算方法は、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して決定します。

本学部（学域）において開講する科目は次に掲げる基準により単位数を計算します。

授業の方法	授業時間	単位数
講義・演習	毎週 2 時間 15 週	2 単位
実験・実習・実技	毎週 2 時間 15 週	1 単位
卒業研究	－	－

※大学において 1 単位の修得には「45 時間」の学修が必要であり、その際の「1 時間」は実際の 45 分に相当します。すなわち、「2 時間」は 90 分授業（1 時限）に相当します。

上記の表を見ると、1 週 2 時間の講義・演習を 15 週受けると 2 単位修得できるように見えます。しかしながら、2 単位を修得するためには 90 時間学修することが基本となっており、授業を受けるだけでは不十分です。すなわち、2 単位の修得には、毎週 2 時間の講義の前後に 2 時間の予習と 2 時間の復習をすることが前提となっています。この前提に基づいて、授業では多くの課題（宿題）が課せられることがあります。大学では、常に予習、復習を行いながら授業を受けることが履修の基本であることを忘れないでください。

5. 履修課程と履修上の注意

(1) 基幹教育科目

基幹教育科目は、総合教養科目、初年次教育科目、情報リテラシー科目、外国語科目、健康・スポーツ科学科目、基礎教育科目に分かれています。科目名や単位数、必修・選択の区分、配当年次等については、「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」および本冊子に記載されています。

① 総合教養科目

総合教養科目は、思考力、表現力、判断力の基盤の上に、幅広い知識を総合的に活用できる能力を身に付けることを目的としています。

② 初年次教育科目

初年次ゼミナールは、高等教育での主体的な学びを大学入学直後に身に付けることを目的としています。グループディスカッションを通じた課題発表等の自発的学修、プレゼンテーションやレポートによる自己表現の経験、異なる視点との出会いによる自己の振り返り、他の専門分野の複数の学生と教員とによる多様な視点の交換を行うことで、能動的な学びの姿勢を身に付けることを目的としています。

③ 情報リテラシー科目

情報リテラシー科目は、情報機器を利活用する際に必要となる情報処理の基礎的な知識と技能に加え、インターネットによるコミュニケーション手法や情報化社会に参画するための情報倫理、情報機器によるプレゼンテーション等のスキルを身に付けることを目的としています。

④ 外国語科目

外国語科目には、「英語科目」と、「初修外国語科目」（朝鮮語・中国語・ロシア語・ドイツ語・フランス語）があります。初修外国語について詳しくは、「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」および「初修外国語履修ガイド」を参照してください。

自分の第1言語（母語）を初修外国語科目として履修することはできません。日本語を第1言語（母語）としない学生は、特例科目（外国人留学生および日本語を母語としない学生を対象にした日本語科目）を履修し単位を修得した場合、初修外国語の単位として認定されます。

⑤ 健康・スポーツ科学科目

生涯にわたり心身の健康を維持し、より健康的な状態を得るために必要な知識や方法について、主としてスポーツを中心とした行動を通じて具体的、学術的に修得するとともに、健康科学やスポーツ文化が果たすべき役割について、理論と実践を通し理解を深めることを目的としています。

⑥ 基礎教育科目

それぞれの学問領域の基礎教育の中で、基幹教育として提供することが相応しい自然科学系科目を基礎教育科目として提供しています。学士課程教育において、科学の

基本的能力として必要とされる学力と能力を養成するために、1・2年次に「数学」・「物理学」・「化学」・「生物学」・「地学」の基礎教育（講義・演習・実験）を実施します。それぞれの科目では、学士課程において必要な科学的基盤を身に付けるのみでなく、専門教育へもスムーズに接続できる知識・技能の修得を目的としています。

また、「情報」の基礎教育科目として、コンピュータやネットワークの動作原理、大量のデータを効率的に蓄積・検索するためのデータベースと、情報検索のしくみ等の修得を目的としています。

（2）専門科目

専門科目においては、各学部・学科、学域・学類の専門科目に加えて、学部・学域によっては共通科目を置き、それぞれの学問分野で共通に求められる知識や思考法等の知的な技法の修得等を目指します。専門科目の科目名、単位数、配当年次および必修・選択の区分は、所属学科等の標準履修課程表を参照してください。

（3）資格科目

教育職員免許状の取得に必要な科目を資格科目といいます。この科目の単位を進級要件や卒業要件の所要単位に含めることはできない場合がありますので注意してください。教育職員免許状の取得を希望する学生は、教職課程に関する説明会に必ず出席し、「教職課程の手引」等を熟読してください。

（4）副専攻科目

副専攻のために特別に開設した科目として副専攻科目があります。副専攻科目の履修については、「副専攻ガイド」等を参照してください。

（5）必修、選択および自由科目の区分

科目は必修、選択、自由科目の種類に区別され、各学部・学科等の定める要件を満たして履修する必要があります。

- ・ 「必修科目」…当該学科等の教育目的を達成するため、卒業要件として修得を必要としている科目。
- ・ 「選択科目」…学生の履修目的に応じて選択し、修得単位を卒業要件に算入する科目。（選択必修科目を含む。）
- ・ 「自由科目」…履修できるが卒業要件に算入しない科目。

（6）遠隔授業について

一部授業は、授業支援システム（Moodle）等によりオンラインで行うことがあります。

（7）集中講義について

週1回の授業ではなく、短期間で授業を行う集中講義を開講することがあります。集

中講義の開講日については学生ポータル（UNIPA）により事前に周知します。集中講義の履修登録については、それぞれ前期・後期の履修登録期間中に登録してください。履修登録期間の時点で希望する集中講義の開講日が未定の場合でも、履修希望者は必ず登録してください。

（８）履修に関する相談について

① オフィスアワー

各授業担当教員は、オフィスアワーを設定しています。これは、指定された曜日・時間には、事前に予約なしでも学生が訪問し、履修に関することや授業中の疑問などを解決するための相談ができる時間のことです。大いに活用してください。（オフィスアワーについては、シラバスを参照してください。）

② その他相談窓口について

履修にあたっては、授業科目の内容説明（「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」やシラバス）を参考にし、標準履修課程表を十分に参照するとともに、履修や進路に関し相談等がある場合は、各学部・学域教務担当または担当教員等に相談してください。

（９）他学部・学域履修

他学部・学域で開講されている科目を履修することができる場合があります。

卒業要件に含めることができるかどうかなどの詳細は所属学科等の卒業要件を確認してください。また、履修できる科目については大阪公立大学 web サイトに掲載されている「他学部・他学域学生が履修可能な科目一覧」を確認したうえで、履修登録の方法は「履修登録の手引」を参照してください。

（10）科目名称について

科目名称の末尾に数字あるいは英字等の表現がある場合は、以下のルールを表しています。

・ 「〇〇論 1、2～」

科目内容に順序性がある科目群について使用します。ただし、必ずしも 1 の履修が 2 の履修の前提条件になっているとは限りません。

・ 「〇〇論 A、B～」

科目内容に順序性がない科目群について使用します。

（11）キャンパスをまたぐ授業の履修について

原則として、各学部・学域の主たる学びのキャンパスで開講される科目を履修してください。ただし、再履修科目、資格科目、副専攻科目、他学部・学域（他学科・学類）科目、その他各学部・学域において必要と認められる科目については、主たる学びのキャンパス以外のキャンパスでの履修が許可されることがあります。なお、個人的都合に

よる理由で主たる学びのキャンパス以外の科目を履修することはできません。

医学部医学科の主たる学びのキャンパスについては、「履修登録の手引」を参照してください。

6. 科目ナンバリングのルール

科目ナンバリングは、教育課程の体系性を示すために、科目に記号と番号を組みあわせて付与することによって、科目の学問分野、カリキュラム内での位置づけを示す仕組みです。本学では、科目の属性に応じて、アルファベットと数字を組み合わせた 13 桁で構成された番号を、下記のとおり①開設部局・②学問分野・③科目レベル・④科目区分・⑤連番・⑥使用言語・⑦授業形態として各科目に付番しています。詳細は本学 Web サイトをご覧ください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		12	13
A	A	A	A	A	A	0	0	0	0	0	-	J	1
①			②			③	④	⑤				⑥	⑦

7. 履修登録

(1) 履修登録

① 学生ポータル (UNIPA) による履修登録

科目を履修するにあたっては、各学期はじめの定める期日まで（4月上旬・9月中旬）に学生ポータル (UNIPA) より履修登録をする必要があります。

履修を考えている科目は全て履修登録期間に登録してください。

② 登録上の諸注意

- ・ 標準履修課程表にある標準履修年次などによく注意して登録してください。試験で不合格となった科目の再履修は原則として次年度以降となりますが、一部の前期開講科目については、同一年度の後期に再履修できる場合があります。
- ・ 同一曜日時限に、2 科目以上を重複して履修登録することはできません。
- ・ 既に単位を修得した科目を再び履修することはできません。
- ・ 履修登録できる単位数には上限が設定される場合があります。詳しくは「10. 成績評語と GPA 制度・CAP 制」の項目を確認してください。

③ 履修登録の確認

履修登録の締め切り後の履修登録状況確認日・抽選結果発表日に、学生ポータル (UNIPA) の「抽選希望登録対象一覧」画面および「学生時間割表」画面上にて抽選科目の抽選結果および履修登録内容の確認が可能になります。履修登録状況確認日・抽選結果発表日に登録内容を点検し、希望どおり正しく登録されているか確認してください。特に、エラーが出ている科目については、履修登録確認・修正期間内に修正してください。

※履修登録について、詳しくは「履修登録の手引」を参照してください。

(2) シラバス

シラバスには、各学部・学域のカリキュラムにおける科目の位置付けや授業の方法、授業概要、到達目標、授業計画、成績評価の方法等が記載されています。履修登録にあたっては、授業時間割やシラバス等を確認し、自身の学習計画を立ててください。

8. 成績評価・試験

(1) 成績評価方法・単位の修得

履修科目の成績は、シラバスで授業科目ごとに示されている方法で各授業担当教員によって評価され、合格した科目に単位が与えられます。成績の評語については「9. 成績評語と GPA 制度・CAP 制」で記載します。成績は学生ポータル (UNIPA) で確認することができます (定められた期間を除く)。

(2) 定期試験

単位の認定は基本的に試験の成績によって行われますが、試験を行わず、レポートや平常の成績等によって単位認定が行われることもあります。試験を実施する場合は、原則として、授業期間終了後 (試験期間) に実施します。試験の時間割は学生ポータル (UNIPA) を確認してください。

(3) 追試験・再試験

試験を欠席した理由が以下の項目に該当する場合には、**教授会の認定する場合に限り追・再試験を行うことがあります。ただし、基幹教育科目については、再試験を実施しません。**

- ① 学生が病気または負傷した場合
- ② 学生の親族が死亡した場合 (2 親等以内の親族または同居の親族に限る。)
- ③ 公共交通機関の遅延による場合
- ④ 学生が国家試験等を受験する場合
- ⑤ 学生が裁判員裁判へ参加する場合
- ⑥ その他やむを得ないものと認められた場合

追試験の受験を希望する者は、所定の期間内に信憑書類を添えて科目の開設部局に願い出る必要があります。追試験の実施有無や受験方法等については科目の開設部局に問い合わせてください。

9. 成績評語と GPA 制度・CAP 制

(1) 成績評語と GPA 制度

履修科目の成績は、下表の基準にもとづき評価され、発表は評語により行います。
 (「100 点方式による素点等」について、追試験は 80 点、再試験は 60 点を上限とする。)
 履修登録した各科目の成績に GP (Grade Point) を割り当てて、その平均を取ったものを GPA (Grade Point Average) といいます。学生の達成度を客観的に評価するための指標として学期ごとに算出され、ただ卒業するために必要な単位を修得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学習効果をあげることを目的としています。GPA は学期ごとに、以下の数式により算出されます。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{当該期で得た科目の GP 値} \times \text{その科目の単位数}) \text{ の合計}}{\text{※当該期に履修登録した総単位数}}$$

※GPA 対象科目のみ

評語	基準	100 点方式による素点等	GP
AA	授業目標を大きく上回って達成できている	100 点以下 90 点以上	4
A	授業目標を上回って達成できている	90 点未満 80 点以上	3
B	授業目標を達成できている	80 点未満 70 点以上	2
C	最低限の授業目標を達成できている	70 点未満 60 点以上	1
F	最低限の授業目標を達成できていない	60 点未満および成績評価基準にもとづく評価をしない科目で不合格となった科目	0
T (取消)		試験等での不正行為	0
N (認定)		単位認定された科目	対象外
P (合格)		成績評価基準にもとづく評価をしない科目で合格となった科目	対象外

GPA の対象となる科目は、原則として履修登録した全ての科目です。ただし、卒業の所要単位に算入されない科目 (資格科目等の自由科目)、上表の単位認定された科目、成績評価基準にもとづく評価をしない科目で合格となった科目は GPA から除かれます。また、成績証明書には、発行した時点での通算 GPA が記載されます。

通算 GPA は、以下の数式により算出されます。

$$\text{通算 GPA} = \frac{\text{各学期で得た科目の GP 値} \times \text{その単位数) の合計}}{\text{各学期で履修登録した単位数の合計}}$$

※GPA 対象科目のみ

なお、履修登録の締め切り以降は、原則として変更はできません。ただし、以下に示す条件により履修を続けることが困難な場合、特別に履修中止を認める場合があります。

- ① 実際の授業の内容が公開されている『シラバス』と本質的に異なっている場合
- ② 授業についていけないだけの知識不足が発覚した場合

手続きの時期や方法など詳細については「履修登録の手引」を確認してください。

(2) CAP 制

学期内で履修する科目について予習・復習の時間を確保するために、各年度・各学期に履修登録できる総単位数には、上限が設けられています。このことをCAP制（キャップ制）といいます。

履修上限は年間 50 単位未満、前期 25 単位以下、後期 25 単位以下と定められています。原則として、通年科目の単位数を計算するときは、通年科目の単位数を開講学期数で割ってそれぞれの学期に振り分けされます。

登録できる単位数		
前期	後期	年
25 単位以下	25 単位以下	50 単位未満

また、卒業の所要単位に算入されない科目（資格科目等の自由科目）はCAP制の対象外となります。卒業の所要単位に算入される科目の中で、例外的にCAP制対象外となる科目もあります。詳しくは標準履修課程表を確認してください。

10. 既修得単位等の認定

(1) 外部試験等による外国語の単位認定

TOEIC 等の外部試験において一定レベル以上のスコアや資格を有している場合、英語科目の単位を認定する制度があります。詳細については、「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」を参照してください。また、申請に使用できる外部試験のスコアの有効期間は1年間です。なお、認定された科目を履修することはできないので注意してください。

11. 定期試験受験心得

試験を受ける際には、次の点を遵守してください。

（ただし、基幹教育科目、共用試験等別に定めているものは除きます。）

- (1) 試験開始までに入室し、試験監督者の指示に従ってください。

- (2) あらかじめ履修登録した科目のみ、受験することができます。
- (3) 受験に際しては、必ず学生証を持参し、着席した机の上に置いてください。学生証を忘れた場合は、事前に所属学部・学域教務担当窓口で仮受験票の交付を受けてください。これを怠った場合は、受験を許可しないことがあります。
- (4) 試験を開始して 30 分経過後の遅刻者は受験を許可されません。
交通機関の事故等による延着については、延着証明を試験監督者に提出してください。
- (5) 30 分を経過しなければ退出は許されません。
- (6) 机上には、持ち込みを許可されたもの（教科書、ノートなど）がある場合を除いて、学生証、筆記具以外を置いてはいけません。
- (7) 特に許可された場合を除き試験室への電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類）の持ち込みは不可とします。持ち込んだ場合は不正行為とみなします。ただし、別途試験監督者から、回収や、かばんの中にするなど指示があった場合は、その指示に従ってください。また、音を発する物（たとえば時計のアラーム）などで、他人に迷惑をかけてはいけません。
- (8) 受験中、学生相互間の物品（筆記具を含む）の貸借は一切認められません。また、私語をしてはいけません。
- (9) 配付された答案用紙には、所定の箇所に、学籍番号、氏名などを必ず記入してください。
- (10) 答案用紙は試験監督者から配付されたものを使用し、書き損じた答案用紙も全て提出してください。配付されたものは、許可されたもの以外は持ち帰ってはいけません。
- (11) 試験監督者が不正行為を認めた場合には、受験の停止、退室などを命ずることがあり、受験者はこれに従わなければいけません。
- (12) 対面試験と同様に遠隔試験についても一切の不正行為を禁じます。
- (13) レポート試験について、次の行為に対して不正行為とみなします。
 - ① 他者のレポートの一部または全部を書き写す行為
 - ② 他者にレポート作成を依頼する行為
 - ③ 他者に依頼されて本人の代わりにレポートを作成する行為
 - ④ レポートのデータや資料等を捏造または改ざんする行為
 - ⑤ その他、上記の不正行為に準ずる行為
- (14) 試験（遠隔試験、レポート試験も含む）で不正行為を行った学生に対しては、教授会の認定により、原則としてその試験実施日が属する学期に履修中の科目の成績を全て無効とし、進級を認めない。
- (15) 不正行為を行った学生は、学則に基づいた懲戒処分（訓告、停学、退学）の対象になる事もあります。
- (16) いかなる試験においても、自己または他人のために不正行為をしてはいけません。

また、不正行為につながる恐れのある素振りそぶりなど、行わないように十分に注意してください。

12. 成績評価についての異議申立

学生は、その学期の成績評価について、次のような場合に異議を申し立てることができます。

- (1) 成績の誤記入等、担当教員の誤りであると思われるもの
- (2) シラバス等により周知している成績評価の方法に照らして、評価結果等について疑義があるもの

異議申立を行う場合、学生ポータル（UNIPA）に掲載する申立期間内に、各科目の開設部局（各学部・学域教務担当または基幹教育担当）へ申し出てください。

なお、これは成績評価に納得がいかない者が、問い合わせ、また異議申立を行う制度ではないので、注意してください。

13. 休講・欠席について

(1) 気象条件の悪化、交通機関の運休等による授業の休講および定期試験の延期措置について

① 気象条件の悪化による授業の休講について

キャンパス所在地を含む地域に暴風（暴風雪）警報、または各種の特別警報が発令されているときは原則として当該キャンパスでの全ての授業を休講とします（定期試験を含む）。ただし、別表のとおり警報解除の時刻により、全部または一部の授業を行います。

授業中または試験中に、キャンパス所在地を含む地域に暴風（暴風雪）警報、または各種の特別警報が発令されているときは、原則として、実施中の授業・試験についてはそのまま行い、その次の時限から当該キャンパスでの授業は休講とします。

また、学外実習などは、前記事項を踏まえ担当教員の指示により授業を行わないことがあります。（実習施設の所在地を含む地域に暴風（暴風雪）警報、または各種の特別警報が発令されたときは実習を行いません）

なお、気象条件の悪化による授業の休講は、対面授業においてのみ適用されるものであり、遠隔授業においてはこの限りではありません。

② 交通機関の運休による授業の休講について

次の交通機関のいずれかが運休（事故等による一時的な運行停止を除く）の授業は原則として休講とします（定期試験を含む）。ただし、別表のとおり運行再開の時刻により、全部または一部の授業を行います。

また、交通機関の計画運休や運休見通し情報が発表された場合は、対象路線や運休期間等の発表内容に基づき、事前に休講とする場合があります。

なお、交通機関の運休による授業の休講は、対面授業においてのみ適用されるもの

であり、遠隔授業においてはこの限りではありません。

- 杉本キャンパス
 - ・ JR 阪和線全線
 - ・ JR 大阪環状線全線および Osaka Metro 御堂筋線全線が同時
- 中百舌鳥キャンパス
 - ・ 南海高野線全線
 - ・ JR 阪和線全線および南海本線全線が同時
 - ・ JR 大阪環状線全線および Osaka Metro 御堂筋線全線が同時
- 阿倍野キャンパス
 - ・ JR 阪和線全線と南海本線全線が同時
 - ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時
 - ・ JR 大和路線全線と近鉄南大阪線全線が同時
 - ・ JR 学研都市線全線と京阪本線全線が同時
 - ・ JR 神戸線・京都線全線と阪神本線・阪急神戸線・京都本線全線が同時
- 羽曳野キャンパス
 - ・ 近鉄南大阪線全線
 - ・ 近鉄バスの藤井寺駅前～府立医療センター間と古市駅前～大阪府立大学羽曳野キャンパス・府立医療センター間の両方が同時
 - ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時
- りんくうキャンパス
 - ・ JR 阪和線全線と南海本線全線が同時
 - ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時
- 梅田サテライト
 - ・ JR 大阪環状線全線と Osaka Metro 全線が同時

③ 地震発生時の取扱い

キャンパス所在地を含む地域で震度5強以上の地震が観測された場合、該当するキャンパスでの当日の授業は休講とします。翌日以降は災害状況等を考慮の上、休講措置の有無を判断します。なお、地震が大阪府内当該地域以外で発生した場合または震度5強未満の場合は、公共交通機関の運行状況に応じて対応することとします。

また、地震を起因とする自然災害等により、避難に関する情報が発表された場合についても状況により休講等の対応を行うことがあります。

(注意事項) ①～③による休講措置がないにもかかわらず、外的要因により登下校が困難になる場合の措置については、⑥を参照してください。また、上記にかかわらず、自らの身の安全を最優先に行動してください。

④ 遠隔授業（同時双方向型に限る）において授業支援システム（Moodle）が停止し

た場合の休講について

授業支援システムが停止した場合は同時双方向型の授業に限り、原則として休講とします（授業担当教員から履修者へ個別の連絡がある場合は除きます）。ただし、別表のとおり授業支援システムの復旧の時刻により、全部または一部の授業を行います。また、遠隔授業（オンデマンド型）については休講の措置を行いません。

（別表）

● 杉本、中百舌鳥、阿倍野、羽曳野、りんくうキャンパス

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	実施する授業
午前 7 時以前	－	全授業
午前 10 時以前	午前開始の授業	午後開始の授業
午前 10 時を過ぎても解除されない 場合	全授業	－

● 梅田サテライト（月～金）

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	実施する授業
午後 3 時以前	－	全授業
午後 3 時を過ぎても解除されない場 合	全授業	－

● 梅田サテライト（土）

運行再開・警報解除 授業支援システムの復旧の時刻	休講となる授業	実施する授業
午前 7 時以前	－	全授業
午前 10 時以前	午前開始の授業	午後開始の授業
午前 10 時を過ぎても解除されない 場合	全授業	－

⑤ その他注意事項

対面授業をオンライン中継する授業（ハイフレックス授業等）の取り扱いについては、対面授業を行っているキャンパスの授業が休講される場合にも同様に休講とします。

上記に挙げる理由以外にも、自然災害等によりキャンパスを含む所在地に避難に関する情報の発表や、Jアラート（全国瞬時警報システム）が発令された場合、学生の安全確保のために休講措置をとる場合があります。

なお、午前 9 時以降における授業の実施については、上記の取扱いを原則としつつ、状況に即して教育推進本部長が例外の判断をする場合があります。その際に

は、学生ポータル（UNIPA）により周知します。

⑥ 登下校が困難な場合の救済措置

上記により休講措置をとらない場合であっても、学生の居住地または通学経路にある地域で、次のいずれかに該当する事態が発生したことにより学生が授業等に出席できない場合（帰宅困難となる恐れがある場合含む）、後日、授業担当者に欠席届を提出し、配慮を申し出てください。

1. 居住地を含む地域における震度 5 強以上の地震が観測された場合
2. 居住地を含む地域における避難指示の発令
3. 居住地を含む地域における気象警報（暴風（暴風雪）警報、または特別警報）等の発表
4. その他災害等（居住地を含む地域または通学経路における上述の 3 事由に準ずる災害等）の発生
5. 通学経路上の交通機関の運休または大幅な遅延の発生

1 4. 副専攻

副専攻とは、全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置を行い、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる教育課程の事を指します。

本学で開設されている副専攻については、「副専攻ガイド」を参照してください。ただし、副専攻のために修得した単位については、進級要件および卒業要件に含まれないことがあるので注意してください。

1 5. 他大学との単位互換制度・単位互換科目

- (1) 他大学の授業の履修を希望する学生は、大学コンソーシアム大阪等との単位互換協定に基づいて、他大学の授業を履修することができます。毎年度教育推進課から募集の案内があります。詳細は各コンソーシアム等の Web サイトを確認してください。
- (2) 他大学で修得した科目および単位は、本学で履修し、単位を修得したものとみなし、単位が認定される場合があります。
- (3) 本学に在学中に外国の大学との協議等に基づき、当該大学の科目を履修し、単位を修得した場合は、教授会等の承認を経て本学において修得したものとみなし、単位が認定される場合があります。

なお、他大学との単位互換制度により認定される単位の上限は 60 単位までです。また、入学前の既修得単位制度により修得した単位数と合わせて 60 単位を超えることはできません。

1 6. 学籍について

(1) 休学

病気その他やむを得ない理由で引き続き2ヶ月以上修学できない場合は、「休学願」を提出することにより、休学が認められることがあります。なお、「休学願」の提出は休学を開始する日の前日（前期からの休学の場合は3月31日、後期からの休学の場合は9月23日）までに行わなければなりません。また、休学を延長する場合も、上記と同様の手続きをおこなう必要があります。

休学期間は、通算して2年を超えることができません。休学期間は在学年数に算入しません。また、学年進行の時期は4月です。

(2) 復学

休学期間中にその事由が消滅した場合は、申し出て復学することができます。復学するためにはその学期の授業料を納入しなければなりません。

(3) 留学

留学を願い出る場合は、担当教員等による指導助言を受けた上で、留学を開始する日の前日までに「留学願」を提出しなければなりません。

(4) 退学

退学を希望する場合は、前期をもって退学する場合は前期末、後期をもって退学する場合は後期末までに「退学願」を提出しなければなりません。学期開始後に提出した場合は、その学期の授業料を納入しなければなりません。

(5) 除籍

指定された期日までに授業料を納入しなかった場合、あるいは在学年限内に所定の単位を修得できなかった場合で「退学願」の提出のないとき等は除籍となります。

(6) 再入学

退学または除籍された者が、再入学を願い出た場合には、教授会の選考を経て再入学が許可されることがあります。ただし、再入学の願い出は、退学または除籍の日から2年以内に限ります。

17. 修学上の配慮・支援について

疾病・障がいおよび社会的障壁を有する学生で個別具体的な修学上の配慮・支援を必要とする場合は、アクセシビリティセンターまたは各学部・学域アクセシビリティ支援委員に申し出てください。

18. 教育学習支援基盤「ていら・みす」について

学ぶ力（学習自己管理能力）を高めること、すなわち、

- ・ 目標を意識しながら、学ぶこと
- ・ 自分自身の学びを見つめる（ふり返る）目を養うこと
- ・ 学びについて得た気づきを、次の学修に生かすこと

を主な目的として、授業ふり返り（授業評価アンケート）等を行います。

「ていら・みす」へは、学生ポータル（UNIPA）からアクセスしてください。

Ⅲ. 令和4年 医学部医学科履修規程

1. 学科目

1) 基幹教育科目については、次表に示すとおり修得しなければならない。

各科目の詳細は「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」を参照すること。

学年	総合教養科目	基礎教育科目	初年次教育科目	情報リテラシー科目	外国語科目	健康・スポーツ科学科目	合計
1	合計 10単位 以上	(指定科目) 10単位	2単位	2単位	英語(指定科目) 4単位 初修外国語 4単位 合計8単位以上	講義 2単位 実習 1単位 合計 3単位	35単位 以上
2					英語(指定科目) 2単位		2単位

なお、TOEFL 等外部試験による英語単位認定については別途定める。

(「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」参照)

【地域志向系科目について】

大阪市立大学は、大阪府立大学との共同申請で文部科学省「地（知）の拠点整備事業」に採択され、平成25年度から5年間「大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践」を推進してきました。平成30年度以降も、本学は、大学と自治体の連携を通して、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を一層、進めています。

なお、医学科においては、1年生の専門科目「早期臨床医学入門」を「地域志向系科目」として位置づけ、必須科目として提供しています。

【初年次教育（学士課程導入教育科目）について】

大阪市立大学では、入学前の学習から大学での学習に円滑に移行できるよう、必要なスキルや姿勢の修得を目的とした、初年次教育を進めています。

医学科では、1年生の専門科目「医学研究推進コース1」を「学士課程導入教育科目」として位置づけ、必須科目として提供しています。

2) 専門科目は次記のとおりである。

第1学年 (M1)	医療倫理学、医学のための統計学、遺伝と遺伝子、細胞生物学、細胞と組織の基本構造と機能、発生学、医学研究推進コース1、メディカル・データ・サイエンス1、医学序論、物理学の臨床医学への応用、心肺蘇生法実習、早期臨床医学入門（早期診療所実習を含む）、早期臨床実習1
第2学年 (M2)	生体物質代謝・生化学、医学英語論文の読み方、遺伝医学、運動器系、血液・造血器系、循環器系、神経解剖、脳機能系、医学研究推進コース2、呼吸器系、免疫系、消化器系、感覚器・皮膚、内分泌・代謝、腎・泌尿器、生殖器、肉眼解剖学（マクロ）実習、機能系実習、早期臨床実習2、コミュニケーション
第3学年 (M3)	生体と薬物、原因と病態1、原因と病態2、細菌・真菌感染症、ウイルス感染症、原虫・寄生虫感染症、医学研究推進コース3、メディカル・データ・サイエンス2、産業医学1、公衆衛生学1、早期臨床実習3、医学英語
第4学年 (M4)	産業医学2、公衆衛生学2、法医学、ユニット型臨床臓器別講義（共用試験 CBT（*1））、臨床スターター実習（共用試験 OSCE（*2）、心肺蘇生法実習）、プライマリケア医学
第5学年 (M5)	外来型 CC（クリニカル・クラークシップ）（*3）、ユニット型 CC（クリニカル・クラークシップ）
第6学年 (M6)	選択型 CC（クリニカル・クラークシップ）（Post-CC OSCE、卒業総合試験）、保健所・保健福祉センター実習

その他、必要に応じて科目を追加することがある。

(*1) CBT : Computer Based Test

(*2) OSCE : Objective Structured Clinical Examination

(*3) CC : Clinical Clerkship

3) 授業科目・コースの学年配当は、1. 1)、1. 2)、2. 4-1)及び「授業時間割表」による。ただし、基幹教育科目については「国際基幹教育機構開設科目要覧（学部・学域生用）」のとおりとする。

2. 履修・評価

1) 各学年に配当された授業科目を履修し、その科目の試験（臨床実習の評価を含む）を受けなければならない。ただし、留年した者は、原則として、留年した学年の新たな進級条件を満たすように履修すること。なお、再履修科目について、別に指示する場合がある。選択型 CC の実習病院の選択にあたっては、教務委員会が提示した内規に従うこと。

2) 試験は、その科目・コースの授業が終了した際、あるいは学年末または学期末に行う。

- 3) 教務委員会が定めるやむを得ない理由*による欠席を除き、
- ①各科目の講義は、2／3 以上出席しなければ、当該科目の試験を受けることができない。
 - ②実習は、原則としてすべて出席しなければ、その評価を受けることができない。
 - ③教務委員会が認定する講演会は、原則として出席しなければならない。
- *交通機関の事故・運休・遅延、病気、冠婚葬祭、裁判員制度による呼出、等。いずれもその事実を証明できる書類を用意すること。

4-1) 各学年において試験等による評価を行う科目ならびにコース・ユニットは、次のとおりである。

令和 4 年 4 月 ～令和 5 年 3 月	第 1 学年 (M1)	基幹教育科目、医療倫理学、医学のための統計学、遺伝と遺伝子、細胞生物学、細胞と組織の基本構造と機能、発生学、医学研究推進コース 1、 メディカル・データ・サイエンス 1、医学序論、物理学の臨床医学への応用、 心肺蘇生法実習、早期臨床医学入門（早期診療所実習を含む）、早期臨床実習 1
令和 4 年 4 月 ～12 月	第 2 学年 (M2)	基幹教育科目、生体物質代謝・生化学、医学英語論文の読み方、遺伝医学、運動器系、 血液・造血器系、循環器系、神経解剖、脳機能系、医学研究推進コース 2、呼吸器系、 免疫系、消化器系、感覚器・皮膚、内分泌・代謝、腎・泌尿器、生殖器、 肉眼解剖学（マクロ）実習、機能系実習、早期臨床実習 2、コミュニケーション
令和 4 年 1 月 ～12 月	第 3 学年 (M3)	生体と薬物、原因と病態 1、原因と病態 1、細菌・真菌感染症、ウイルス感染症、原虫・ 寄生虫感染症、医学研究推進コース 3、メディカル・データ・サイエンス 2、産業 医学 1、公衆衛生学 1、早期臨床実習 3、医学英語
	第 4 学年 (M4)	ユニット型臨床臓器別講義（共用試験 CBT） （ユニット A）総合診療医学・行動科学、呼吸器病学、膠原病・リウマチ、 感染症・化学療法、循環器 （ユニット B）消化管、放射線医学、肝・胆・膵・腹膜、 臨床検査・病理、医療安全学 （ユニット C）腎・泌尿器、皮膚科、内分泌・代謝、形成外科、運動器 （ユニット D）眼科、神経精神科、神経内科・老年科、脳神経外科、 耳鼻咽喉科、歯科・口腔外科 （ユニット E）小児科、血液・造血器、産婦人科、麻酔、救急 臨床スターター実習（共用試験 OSCE、心肺蘇生法実習）、産業医学 2、公衆衛生学 2、 法医学、プライマリケア医学
	第 5 学年 (M5)	外來型 CC（クリニカル・クラークシップ）、 ユニット型 CC（クリニカル・クラークシップ） （ユニット A）循環器内科、心臓血管外科、膠原病内科、呼吸器内科、呼吸器外科、 感染症内科、総合診療科 （ユニット B）消化器内科、肝胆膵内科、消化器外科・肝胆膵外科、 放射線科・放射線治療科・核医学、患者安全学 （ユニット C）代謝内分泌・腎臓内科、乳腺・内分泌外科、泌尿器科、 皮膚科、形成外科、整形外科 （ユニット D）神経精神科、脳神経内科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科 （ユニット E）産科婦人科、小児科、小児外科、血液内科、麻酔科、救命救急科
令和 4 年 1 月 ～令和 5 年 3 月	第 6 学年 (M6)	選択型 CC（クリニカル・クラークシップ）（Post-CC OSCE、卒業総合試験）、 保健所・保健福祉センター実習

- 4-2) 上記以外に次の試験を行う。
- 第 4 学年 共用試験（CBT・OSCE）
 - 第 6 学年 ・卒業総合試験（法医学、公衆衛生学、循環器内科、呼吸器内科、内科学 2、消化器内科、

肝胆膵内科、神経内科、小児科、産科、婦人科、血液内科、放射線科、麻酔科、救急、外科学、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、神経精神科、臨床感染制御学、総合診療医学)

・Post-CC OSCE

ただし、上記の試験は、それに関連した科目の試験に含め、実施することがある。

5) 試験の成績は、各科目につき 60%以上の点数を得たものを合格とする

ただし、第 4 学年においては、●頁 2. 4) に記載のコース毎に試験等を実施するが、最終の成績は●頁 1. 2) の項に記載の科目において、下表の通り評価する。

＜第 4 学年対象科目＞

ユニット型臨床臓器別講義	各コース 60%以上の点数を得たもの
産業医学 2	60%以上の点数を得たもの
公衆衛生学 2	60%以上の点数を得たもの
法医学	60%以上の点数を得たもの
プライマリケア医学	60%以上の点数を得たもの
共用試験 CBT	IRT 標準スコア 359 以上の値を得たもの
臨床スターター実習(共用試験 OSCE)	ユニット型 CC に参加する能力があると教務委員会が判断したもの

選択型 CC の実習先選択にあたり、ユニット型臨床臓器別講義、プライマリケア医学、共用試験 (CBT・OSCE) の成績を順位付けに使用する。なお、成績採用率については「選択型 CC 実習病院選択に関する内規」に基づく。

※外来型 CC については、第 5 学年のユニット型 CC においてその評価に取り入れる。

6) 授業及び試験をやむを得ない理由により受けることができなかった者については、その理由（診断書等証明書類を添付）を明記して、「欠席届」を（試験の場合は「追試験願」を併せて）学務課に届出なければならない。

7) 試験を受けることができなかった者については、教授会の認定する場合に限り追・再試験を行うことがある。ただし、基幹教育科目については、再試験を実施しない。

8) 試験中に不正行為があった者については、教授会の認定により当該科目を不合格とし、進級を認めない。ただし、別に定めている基幹教育科目は除く。

9) レポート作成についての留意事項

- 他人のレポートを写す（剽窃）
- インターネット・書籍等を写す（盗作）

以上の行為は不正行為となり留年の対象とする。引用する場合は必ず出典元を明記すること。

10) 成績は、合格、不合格とし、合格には次のような評価を行う。ただし、点数化できない科目については、合格と表記する。

AA：90～100 点、A：80～89 点、B：70～79 点、C：60～69 点

11) 教育分野 FD (Faculty Development) 講演会

授業改善やカリキュラム改革などをテーマに、学部教育の質向上を目的とした組織的な取り組み。医学部では年 4 回、講演会を実施している。第 3 学年と第 5 学年でそれぞれ 4 回ずつ出席すること。なお各学年で 1 回以上、対面方式で参加すること。開催日程等については、掲示板等にて周知する。

12) 医療安全研修（医療安全・感染対策）

附属病院実施の医療安全研修及び感染対策研修に、外来型 CC 及びユニット型 CC の期間に各 1 回、選択型 CC 以降に各 1 回出席すること。なお、開催日程等については、掲示板にて周知する。

3. 再試験

各専門科目の点数が 60%未満のとき、教務委員会及び教授会の認定により、次のとおり再試験を許可する。

1) 第 1 学年

不合格科目数は問わず、各科目の主任者が再試験実施を可と認めたとき。

2) 第2学年

不合格コースの主任者が再試験実施を可と認めたとき。

なお、体調不良による試験の欠席は、「診断書」を添え「欠席届」、「追試験願」を試験日より1週間以内に学務課へ提出し、追試験の申請をすること。

3) 第3学年

不合格科目数は問わず、各科目の担当者が再試験実施を可と認めたとき。医学英語については、担当教員が不合格と判定した場合には別途指示した再評価期間の授業に出席し、再評価を受けること。

4) 第4学年

・ユニット型臨床臓器別講義の試験で60%未満（不合格）の点数のコースがあるとき。なお、不合格コース（欠席したコースを含む）が10コース以上あった場合、再試験を受けることができない。ただし、体調不良による試験の欠席は、「診断書」を添え「欠席届」、「追試験願」を試験日より1週間以内に学務課へ提出し、追試験の申請をすること。

・CBTのIRT標準スコアが359未満の値のとき。

・OSCEについては著しく能力が不足していると教務委員会が判断したとき。

なお、臨床スターター実習において、教務委員会の定める回数を欠席した場合、OSCEの再試験を受けることができない。ただし、やむを得ない理由による欠席*を除く。

5) 第5学年

・ユニット型CC評価において定められた基準を満たしていないとき。

6) 第6学年

・選択型CCにおいて、「再教育が必要である」と評価を受けたとき。

・Post-CC OSCEが不合格のとき。

・卒業総合試験が不合格のとき。

4. 進級・留年

1) 第1学年及び第2学年の基幹教育科目については、25頁の1. 学科目1)の表のとおり修得し、かつ第1・2学年は25頁の表に定めるすべての専門科目・コースに合格しなければ、それぞれ次の学年に進級できない。

第2学年の留年者は、各コースの主任が指定するコースを再履修する。

なお、第1学年時の早期臨床実習1・早期診療所実習・心肺蘇生法実習、及び第2学年時の早期臨床実習2への参加は進級条件とする。

第1学年で、基幹教育科目を25頁1.1)の表の通り修得できなかった場合、教務委員会及び教授会の認定により第2学年への仮進級を認める。ただし、第2学年中に修得できなかった場合、原則、第2学年に留年とする。

第2学年で、基幹教育科目2科目のうち、不合格科目が1科目の場合、教務委員会及び教授会の認定により第3学年への仮進級を認める。ただし、第3学年中に修得できなかった場合、原則、第3学年に留年とする。

2) 第3学年は、各科目の試験に合格しなければ、それぞれ次の学年に進級できない。なお、3年次に留年した際の再履修科目については不合格科目の担当責任者が、別途指示した授業を再履修する。

医学研究推進コース3の研究結果レポートについては実習を受けた年度内の定められた期日までに論文を提出しない場合、次の学年に進級できない。早期臨床実習3への参加ならびに教育分野FD講演会への出席については、進級条件とする。

早期臨床実習3をやむを得ない理由により受けることができなかった者については、その理由(診断書等証明書類を添付)を明記して、学務課に届出なければならない。実習を受けることができなかった者については、教授会の認定する場合に限り次年度の実習を認めることがある。

3) 第4学年は、各科目の試験に合格しなければ、それぞれ次の学年に進級できない。なお、ユニット型臨床臓器別講義の再試験の結果、60%未満のコースがある場合、CBTの再試験の結果、IRT標準スコア359未満の値の場合、またはOSCEの再評価において著しく能力が不足していると判断された場合は教務委員会の意見を付して教授会で進級を判断する。また、外来型CC以降の時期に開催される医療安全研修(医療安全・感染対策)への出席については、卒業要件とする。

※共用試験(CBT、OSCE)については、必ず同一年度にて両方の合格が必要であり、片方が不合格となり留年とな

った場合、合格科目の次年度への成績持越しは出来ない。また、この場合、次年度において必ず臨床スターター実習（共用試験 OSCE）及び教務委員会が指定した科目・コースを再受講する必要がある。

※外来型 CC への参加条件：Student Doctor(*7) が付与されていること。

※Student Doctor 付与条件

●頁の表 1.2) に定める第 4 学年の専門教育科目のすべてに合格していること。

(*7) Student Doctor：共用試験（学生の能力と適正について全国的に一定水準を確保するための全国共通の標準評価試験）に合格した学生に対し、全国医学部長病院長会議が認定するもの。

4) 第 5 学年は、各実習にやむを得ない理由*を除き、原則としてすべて出席しなければ、進級判定を受けることができない。

ユニット型 CC 評価において定められた基準を満たさなければ、第 6 学年に進級できない。

教育分野 FD 講演会への出席については、卒業要件とする。

5) 第 6 学年は、選択型 CC 評価において定められた基準を満たさない場合、

卒業総合試験、Post-CC OSCE、保健所・保健福祉センター実習に合格しなかった場合は第 6 学年に留年する。

なお、これらの場合、臨床から長期に離れることになるので、選択型 CC を再履修する。

また、医療安全研修（医療安全・感染対策）への出席については、卒業要件とする。

5. 在学年限

在学年限は、第 1 学年については 3 年、第 2 学年～第 6 学年については 8 年を越えて在学することはできない。

6. 卒業の認定

卒業の認定は教授会の議に基づき医学部長が行う。

また、医師国家試験合格者の 4 月 1 日付けの医籍登録にともない、卒業認定日を 3 月 10 日とし、

同日をもって学籍が失効する。ただし、学位授与式（卒業式）は全学卒業式にあわせて行う。

【専門試験に関する留意事項】

専門試験を受ける際には、次の点に留意すること。

（ただし、基幹教育科目、共用試験等別に定めているものは除く。）

- 1 試験開始 20 分を経過したときは、原則として入室を認めない。
交通機関の事故等による延着については、延着証明を試験担当者に提出すること。
- 2 試験開始後 30 分間は、試験室から退室することはできない。
- 3 試験室では試験担当者の指示に従うこと。
- 4 試験室への電子機器類（携帯電話、スマートフォン等）の持ち込みは不可とする。持ち込んだ場合は不正行為とみなす。
- 5 不正行為につながる恐れのあるそぶりなど、行わないように十分に注意すること。

附 則

1 感染症が病院内で発生・流行することは未然に防ぐべきであることは言うまでもない。その際、医学部学舎ならびに医学部附属病院で学ぶ学生は自らがその感染源にならないよう努めることは、将来、医療を学ぶ者の責任である。

したがって、定期健康診断（肺結核）、小児感染症（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎と水痘）の抗体価測定、B 型肝炎のウイルス検査、必要に応じたワクチン接種等を受け、感染源とならない努力をするのは当然のことと考えられる。

抗体価が不十分な学生は、指定の期日に間に合うようにワクチン接種を行い、検査表を学務課へ提出しなければならない。検査表の提出をもってワクチン接種を完了とする。やむを得ない理由を除き、期日以降の検査表の提出は認めない。なお、これらの対策を遵守しない学生は原則的に医学部学舎への立ち入り及び臨床実習を受けることができない。

2 医学部医学科では、カリキュラム改編により、3～6 年生は 1 月から開始するスケジュールとなった。したがって、本規程は令和 5 年 1 月以降に進級もしくは留年する各学年の学生に対し適用する。

(施行期日)

1. この規程は平成 7 年 4 月 1 日より施行する。

(改正 平成 8 年 4 月 1 日)

(改正 平成 9 年 4 月 1 日)

(改正 平成 10 年 4 月 1 日)

(改正 平成 11 年 4 月 1 日)

(改正 平成 12 年 4 月 1 日)

(改正 平成 14 年 4 月 1 日)

(改正 平成 15 年 4 月 1 日)

(改正 平成 16 年 4 月 1 日)

(改正 平成 17 年 4 月 1 日)

(改正 平成 18 年 4 月 1 日)

(改正 平成 19 年 4 月 1 日)

(改正 平成 20 年 4 月 1 日)

(改正 平成 21 年 4 月 1 日)

(改正 平成 22 年 4 月 1 日)

(改正 平成 23 年 4 月 1 日)

(改正 平成 24 年 4 月 1 日)

(改正 平成 25 年 4 月 1 日)

(改正 平成 26 年 4 月 1 日)

(改正 平成 27 年 4 月 1 日)

(改正 平成 28 年 4 月 1 日)

(改正 平成 29 年 4 月 1 日)

(改正 平成 30 年 4 月 1 日)

(改正 平成 31 年 4 月 1 日)

(改正 令和 2 年 4 月 1 日)

(改正 令和 3 年 1 月 1 日)

(改正 令和 4 年 1 月 1 日)

(改正 令和 4 年 4 月 1 日)

2. 医学部専門課程履修規程は廃止する。

修 学 上 の 注 意 事 項

1. 各種掲示

学生に関するすべての連絡事項は、原則として1年生は全学共通教育棟及び医学部学舎学年掲示板(学舎 2F)、2 年生以上は医学部学舎各学年の掲示板(学舎 2F)への掲示において行うので、必ずチェックする習慣を身につけ、見落とさないよう注意すること。

2. 履修受験届

各セメスターの初めに、**学生ポータル (UNIPA)** から履修登録を行うこと。登録期間、修正・確認期間については、別途掲示にて指定する。

3. 学生証・通学証明書および各種証明書等の発行

① 学生証・通学証明書について

入学時に交付された学生証・通学証明書は、6年間有効であるので、紛失しないよう大切に保持すること。もし、紛失・盗難等があった場合は医学部学務課へ再交付を願い出ること。

② 各種証明書発行について

学割・在学・成績等の各種証明書の発行については、証明書自動発行機を利用すること。

4. 住所変更および身上の異動の届出

自宅の住所・下宿先の変更、改姓、保証人の変更、転籍等の異動があった時、メールアドレス変更があった時には、医学部学務課へ申し出ること。

5. 休学・退学等

いずれの場合も前期(4 月 1 日～)・後期(10 月 1 日～)の学期が始まる前の早い時期に、医学部学務課に申し出て相談すること。学期開始後になると、その期の授業料を納めなければならない。

6. 各種奨学金および授業料減免・分納等の申請

学務課事務室前(医学部学舎1F)掲示板において周知するので注意すること。

7. 障がい有する学生の受講等

障がい有する学生が、受講等について要望がある場合は、医学部学務課に申し出ること。

8. 教育相談等

教育システムやカリキュラム上の問題については各学年の教育担当の教務委員に直接、または学務課を介して相談を申し出ること。

9. 実習における賠償責任保険の加入

本学では、実習中における予期せぬ事故に対応した賠償責任保険に、学生が加入することを実習の履修条件とし、全員加入を義務づけている。

実習における保険に加入する場合は、①実習中の本人の事故被害の補償、②実習中の他者(実習施設含む)に対する事故被害の補償を可能とする保険に加入すること。加入なき場合、臨床実習を受けることができない。

ただし、保険の種類、掛け金、加入期間により保険の補償内容が異なるため、各自で補償内容を

確認した上で、必ず定められた期限までに加入し、学務課に報告すること。

なお、詳細については各ガイダンスにて確認すること。

10. インターネットについて

インターネットは、さまざまな情報を収集したり、SNSやメールなどでコミュニケーションをとったりと大変便利なものである反面、高い匿名性と情報発信力を持っており、使い方を誤ると、思わぬ人権侵害、情報漏洩につながる危険性を持っている。特に、将来医師を目指す医学部生はとりわけ高い人権意識、コンプライアンス意識を持つ必要がある。インターネット利用時において以下の点について特に留意し、ルール、モラルを守ること。

- インターネットの公開ウェブサイトやSNSなどのウェブ上のコミュニティにおいて、特定個人の人格を傷つける誹謗中傷を書きこむ行為はしない
- 実習等の画像をインターネット上に公開しない

11. 感染症について

感染症が病院内で発生・流行することは未然に防ぐべきである。その際、医学部学舎ならびに医学部附属病院で学ぶ医学部学生は自らがその感染源にならないよう努めることは、将来、医療を学ぶ者の責任である。従って、定期健康診断(肺結核)を受診していない学生は、原則的に医学部学舎への立ち入りを禁止する。

また、小児感染症・B型肝炎の抗体価測定、必要に応じたワクチン接種を受けていない学生は、臨床実習を受けることができない。

12. その他

- ① 医学部キャンパス内では、常に名札を着用すること。臨床実習に参加する場合には患者や家族に不快感を与えないよう、頭髪、服装等に配慮し、病院内の如何なる場所においても真摯な態度を心がけること。規準はあくまで、医療を提供される側にあるのであって、学生個人の考え方に基づくものではない。
- ② 飲食は所定の場所以外ではおこなわないこと。喫煙は禁止とする。
- ③ 授業中は携帯電話等のスイッチを必ず切っておくこと。
- ④ 授業の撮影・録音は禁止とする。但し、特別な事情によりその必要性が生じた際は、必ず事前に担当教員、学務課に連絡すること。

裁判員制度の実施に伴う修学上の措置について

平成21年5月21日からの裁判員制度の実施に伴い、皆さんが裁判所からの呼出状に基づき裁判所に出頭する場合や裁判員として裁判に参加する場合が予想されます。裁判員等に選任された皆さんが修学上安心して参加出来るように、次のとおりの措置することとなりましたので、お知らせします。

記

1 裁判員等に選任された場合（本人の意志により辞退しない場合）

① 「欠席届」を提出してください。

所定用紙の配付・提出先：医学部医学科学務課

※ 全学共通科目については、学生支援課にて手続きを行ってください。

2 措置内容

① 授業の欠席により皆さんに不利益を与えないよう、授業担当教員の判断により措置を行います。

② 定期試験期間中の場合は、追試験の対象とします。

3 その他

裁判員候補者の内、裁判員または補充裁判員に選任されなかった場合は、それ以降「欠席届」の提出はできません。

平成21年4月22日

教務担当部長通知

2022年 1年生 授業時間割表

(4月・5月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/4/1	金	A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	
2022/4/2	土						
2022/4/3	日						
2022/4/4	月			A) 新入生ガイダンス	A) 新入生ガイダンス	A) 新入生ガイダンス	
2022/4/5	火						
2022/4/6	水						
2022/4/7	木						健康診断(杉本)
2022/4/8	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	全学授業開始日
2022/4/9	土						
2022/4/10	日						
2022/4/11	月	入学式	入学式	A) 入学祝賀会	A) 入学祝賀会		入学式(予定)
2022/4/12	火	予備日/自己学習	医学のための統計学①	遺伝と遺伝子①		医学研究推進コース1	
2022/4/13	水	情報リテラシー	物理学基礎①	英語1A	初修外国語		
2022/4/14	木	生物学C①	初年次ゼミナール	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/4/15	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/4/16	土						
2022/4/17	日						
2022/4/18	月	基礎無機・物理化学①	基礎物理化学A①	英語1B			
2022/4/19	火	予備日/自己学習	医学のための統計学②	遺伝と遺伝子②	医学研究推進コース1	医学研究推進コース1	
2022/4/20	水	情報リテラシー	物理学基礎②	英語1A	初修外国語		
2022/4/21	木	生物学C②	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/4/22	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/4/23	土						
2022/4/24	日						
2022/4/25	月	基礎無機・物理化学②	基礎物理化学A②	英語1B	総合教養科目		
2022/4/26	火	予備日/自己学習	医学のための統計学③	遺伝と遺伝子③	医療倫理学①	医療倫理学②	
2022/4/27	水	情報リテラシー	物理学基礎③	英語1A	初修外国語		
2022/4/28	木	生物学C③	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/4/29	金						【昭和の日】
2022/4/30	土						
2022/5/1	日						
2022/5/2	月	基礎無機・物理化学③	基礎物理化学A③	英語1B	総合教養科目		
2022/5/3	火						【憲法記念日】
2022/5/4	水						【みどりの日】
2022/5/5	木						【こどもの日】
2022/5/6	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/5/7	土						
2022/5/8	日						
2022/5/9	月	基礎無機・物理化学④	基礎物理化学A④	英語1B	総合教養科目		
2022/5/10	火	予備日/自己学習	医学のための統計学④	遺伝と遺伝子④			
2022/5/11	水	情報リテラシー	物理学基礎④	英語1A	初修外国語		
2022/5/12	木	生物学C④	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/5/13	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/5/14	土						
2022/5/15	日						
2022/5/16	月	基礎無機・物理化学⑤	基礎物理化学A⑤	英語1B	総合教養科目		
2022/5/17	火	医学の為の統計学⑤	医学のための統計学⑤	遺伝と遺伝子⑤	医学研究推進コース1		
2022/5/18	水	情報リテラシー	物理学基礎⑤	英語1A	初修外国語		
2022/5/19	木	生物学C⑤	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/5/20	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/5/21	土						
2022/5/22	日						
2022/5/23	月	基礎無機・物理化学⑥	基礎物理化学A⑥	英語1B	総合教養科目		
2022/5/24	火	医学の為の統計学⑥	医学のための統計学⑥	遺伝と遺伝子⑥	医療倫理学③	医療倫理学④	
2022/5/25	水	情報リテラシー	物理学基礎⑥	英語1A	初修外国語		
2022/5/26	木	生物学C⑥	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/5/27	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/5/28	土						
2022/5/29	日						
2022/5/30	月	基礎無機・物理化学⑦	基礎物理化学A⑦	英語1B	総合教養科目		
2022/5/31	火	医学のための統計学⑦	医学のための統計学⑦	遺伝と遺伝子⑦	医学研究推進コース1	医療倫理学⑤	

2022年 1年生 授業時間割表

(6月・7月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/6/1	水	情報リテラシー	物理学基礎⑦	英語1A	初修外国語		
2022/6/2	木	生物学C⑦	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/6/3	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/6/4	土						
2022/6/5	日						
2022/6/6	月	基礎無機・物理化学⑧	基礎物理化学A⑧	英語1B	総合教養科目		
2022/6/7	火	医学のための統計学⑪	医学のための統計学⑫	遺伝と遺伝子⑧	医学研究推進コース1	医療倫理学⑥	
2022/6/8	水	情報リテラシー	物理学基礎⑧	英語1A	初修外国語		
2022/6/9	木	生物学C⑧	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/6/10	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/6/11	土						
2022/6/12	日						
2022/6/13	月	基礎無機・物理化学⑨	基礎物理化学A⑨	英語1B	総合教養科目		
2022/6/14	火	医学のための統計学⑬	医学のための統計学⑭	遺伝と遺伝子⑨	医学研究推進コース1		
2022/6/15	水	情報リテラシー	物理学基礎⑨	英語1A	初修外国語		
2022/6/16	木	生物学C⑨	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論	物理学の臨床医学への応用	
2022/6/17	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/6/18	土						
2022/6/19	日						
2022/6/20	月	基礎無機・物理化学⑩	基礎物理化学A⑩	英語1B	総合教養科目		
2022/6/21	火	医学のための統計学⑮	医学のための統計学⑯	遺伝と遺伝子⑩	医学研究推進コース1		
2022/6/22	水	情報リテラシー	物理学基礎⑩	英語1A	初修外国語		
2022/6/23	木	生物学C⑩	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/6/24	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/6/25	土						補講
2022/6/26	日						
2022/6/27	月	基礎無機・物理化学⑪	基礎物理化学A⑪	英語1B	総合教養科目		
2022/6/28	火	予備日/自己学習	医学のための統計学⑰	遺伝と遺伝子⑪	医学研究推進コース1	医療倫理学⑦	
2022/6/29	水	情報リテラシー	物理学基礎⑪	英語1A	初修外国語		
2022/6/30	木	生物学C⑪	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/7/1	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/7/2	土						
2022/7/3	日						
2022/7/4	月	基礎無機・物理化学⑫	基礎物理化学A⑫	英語1B	総合教養科目		
2022/7/5	火	予備日/自己学習	医学のための統計学⑳	遺伝と遺伝子⑫	医学研究推進コース1		
2022/7/6	水	情報リテラシー	物理学基礎⑫	英語1A	初修外国語		
2022/7/7	木	生物学C⑫	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/7/8	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/7/9	土						
2022/7/10	日						
2022/7/11	月	基礎無機・物理化学⑬	基礎物理化学A⑬	英語1B	総合教養科目		
2022/7/12	火	予備日/自己学習	医学のための統計学㉑	遺伝と遺伝子⑬	医学研究推進コース1		
2022/7/13	水	情報リテラシー	物理学基礎⑬	英語1A	初修外国語		
2022/7/14	木	生物学C⑬	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/7/15	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/7/16	土						補講
2022/7/17	日						
2022/7/18	月	基礎無機・物理化学⑭	基礎物理化学A⑭	英語1B	総合教養科目		祝日授業日【海の日】
2022/7/19	火	予備日/自己学習	医学のための統計学㉒	遺伝と遺伝子⑭	遺伝と遺伝子⑮	医学研究推進コース1	
2022/7/20	水	情報リテラシー	物理学基礎⑭	英語1A	初修外国語		
2022/7/21	木	生物学C⑭			早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/7/22	金						授業・試験期間
2022/7/23	土						補講
2022/7/24	日						
2022/7/25	月	基礎無機・物理化学⑮	基礎物理化学A⑮	英語1B	総合教養科目		授業・試験期間
2022/7/26	火	物理学の臨床医学への応用	【試験】医学のための統計学	【試験】遺伝と遺伝子			授業・試験期間
2022/7/27	水		物理学基礎⑮	英語1A			授業・試験期間
2022/7/28	木	生物学C⑮	初年次ゼミナール	(S→A)	物理学の臨床医学への応用		授業・試験期間
2022/7/29	金						授業・試験期間
2022/7/30	土						
2022/7/31	日						

2022年 1年生 授業時間割表

(8月・9月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/8/1	月	【試験】基礎無機・物理化学	【試験】基礎物理化学A				授業・試験期間
2022/8/2	火						授業・試験期間
2022/8/3	水		【試験】物理学基礎				授業・試験期間
2022/8/4	木	【試験】生物学C					授業・試験期間
2022/8/5	金						試験予備日
2022/8/6	土						
2022/8/7	日						
2022/8/8	月						試験予備日
2022/8/9	火						試験予備日
2022/8/10	水						8/10～9/23夏季休業
2022/8/11	木						【山の日】
2022/8/12	金						
2022/8/13	土						
2022/8/14	日						
2022/8/15	月						
2022/8/16	火						
2022/8/17	水						
2022/8/18	木						
2022/8/19	金						
2022/8/20	土						
2022/8/21	日						
2022/8/22	月						
2022/8/23	火						
2022/8/24	水						
2022/8/25	木						
2022/8/26	金						
2022/8/27	土						
2022/8/28	日						
2022/8/29	月						
2022/8/30	火						
2022/8/31	水						
2022/9/1	木						
2022/9/2	金						
2022/9/3	土						
2022/9/4	日						
2022/9/5	月						
2022/9/6	火						
2022/9/7	水						
2022/9/8	木						
2022/9/9	金						研修期間
2022/9/10	土						
2022/9/11	日						
2022/9/12	月						研修期間
2022/9/13	火						研修期間
2022/9/14	水						研修期間
2022/9/15	木						研修期間
2022/9/16	金						研修期間
2022/9/17	土						
2022/9/18	日						
2022/9/19	月						【敬老の日】
2022/9/20	火						研修期間
2022/9/21	水				早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	研修期間
2022/9/22	木				早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	研修期間
2022/9/23	金						【秋分の日】
2022/9/24	土						
2022/9/25	日						
2022/9/26	月	総合教養科目	基礎有機化学①	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	全学授業開始日
2022/9/27	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	医学研究推進コース1		
2022/9/28	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/9/29	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学①	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/9/30	金	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	

2022年 1年生 授業時間割表

(10月・11月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/10/1	土						
2022/10/2	日						
2022/10/3	月	総合教養科目	基礎有機化学②	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/10/4	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/5	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/10/6	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学②	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/7	金	発生学	発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/8	土						
2022/10/9	日						
2022/10/10	月	総合教養科目	基礎有機化学③	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	祝日授業日【スポーツの日】
2022/10/11	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/12	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/10/13	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学③	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/14	金	発生学	発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/15	土						
2022/10/16	日						
2022/10/17	月	総合教養科目	基礎有機化学④	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/10/18	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/19	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/10/20	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学④	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/21	金	発生学	発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/22	土						
2022/10/23	日						
2022/10/24	月	総合教養科目	基礎有機化学⑤	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/10/25	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/26	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/10/27	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑤	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/28	金	発生学	発生学				
2022/10/29	土						
2022/10/30	日						
2022/10/31	月	総合教養科目	基礎有機化学⑥	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/1	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/11/2	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/11/3	木						【文化の日】
2022/11/4	金						学際休講
2022/11/5	土						
2022/11/6	日						
2022/11/7	月	総合教養科目	基礎有機化学⑦	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/8	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/11/9	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/11/10	木	総合教養科目	(S→A)	予備日/自己学習	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/11/11	金	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/11/12	土						
2022/11/13	日						
2022/11/14	月	総合教養科目	基礎有機化学⑧	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/15	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	細胞生物学⑥	予備日/自己学習	
2022/11/16	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/11/17	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑦	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/11/18	金	発生学	発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/11/19	土						
2022/11/20	日						
2022/11/21	月	総合教養科目	基礎有機化学⑨	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/22	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	細胞生物学⑧	細胞生物学⑨	
2022/11/23	水						【勤労感謝の日】
2022/11/24	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑩	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/11/25	金	【試験】発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	早期臨床医学入門(予備)	早期臨床医学入門(予備)	
2022/11/26	土						補講日
2022/11/27	日						
2022/11/28	月	総合教養科目	基礎有機化学⑩	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/29	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	組織①		
2022/11/30	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	

2022年 1年生 授業時間割表

(12月・1月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/12/1	木	総合教養科目	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習		
2022/12/2	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織②	組織③		
2022/12/3	土						
2022/12/4	日						
2022/12/5	月	総合教養科目	基礎有機化学⑪	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/12/6	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)			
2022/12/7	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/12/8	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑪	【試験】早期臨床医学入門		
2022/12/9	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織④	組織⑤	組織⑥	
2022/12/10	土						
2022/12/11	日						
2022/12/12	月	総合教養科目	基礎有機化学⑫	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/12/13	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)			
2022/12/14	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/12/15	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑫	細胞生物学⑬		
2022/12/16	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織⑦	組織⑧	組織⑨	
2022/12/17	土						補講日
2022/12/18	日						
2022/12/19	月	総合教養科目	基礎有機化学⑬	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/12/20	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)			
2022/12/21	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/12/22	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑭	細胞生物学⑮		
2022/12/23	金	予備日/自己学習	予備日/自己学習	組織⑩	組織⑪	組織⑫	
2022/12/24	土						冬期休業12/24～1/8
2022/12/25	日						
2022/12/26	月						
2022/12/27	火						
2022/12/28	水						
2022/12/29	木						
2022/12/30	金						
2022/12/31	土						
2023/1/1	日						【元旦】
2023/1/2	月						【振替休日】
2023/1/3	火						
2023/1/4	水						
2023/1/5	木						
2023/1/6	金	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2023/1/7	土						
2023/1/8	日						
2023/1/9	月						【成人の日】
2023/1/10	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2023/1/11	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2023/1/12	木	総合教養科目	(S→A)	組織⑬	組織⑭	組織⑮	
2023/1/13	金						杉本休講日
2023/1/14	土						
2023/1/15	日						
2023/1/16	月	総合教養科目	基礎有機化学⑭	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2023/1/17	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2023/1/18	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2023/1/19	木	総合教養科目	(S→A)	組織⑯	組織⑰	組織⑱	
2023/1/20	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織実習予備日	組織実習予備日	組織実習予備日	授業・試験期間
2023/1/21	土						
2023/1/22	日						
2023/1/23	月		基礎有機化学⑮		健康・スポーツ科学(講義)		授業・試験期間
2023/1/24	火						授業・試験期間
2023/1/25	水						授業・試験期間
2023/1/26	木			【試験】細胞生物学			授業・試験期間
2023/1/27	金						授業・試験期間
2023/1/28	土						
2023/1/29	日						
2023/1/30	月				【試験】基礎有機化学		授業・試験期間
2023/1/31	火						授業・試験期間

2022年 1年生 授業時間割表

(2月・3月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2023/2/1	水						授業・試験期間
2023/2/2	木						授業・試験期間
2023/2/3	金			【試験】組織	【試験】組織		授業・試験期間
2023/2/4	土						
2023/2/5	日						
2023/2/6	月						試験予備日
2023/2/7	火						試験予備日
2023/2/8	水						
2023/2/9	木						
2023/2/10	金						
2023/2/11	土						【建国記念の日】
2023/2/12	日						
2023/2/13	月						
2023/2/14	火						
2023/2/15	水						
2023/2/16	木						
2023/2/17	金						
2023/2/18	土						
2023/2/19	日						
2023/2/20	月						
2023/2/21	火						
2023/2/22	水						個別学力試験準備
2023/2/23	木						【天皇誕生日】
2023/2/24	金						個別学力試験
2023/2/25	土						個別学力試験
2023/2/26	日						
2023/2/27	月						
2023/2/28	火						
2023/3/1	水						
2023/3/2	木						
2023/3/3	金						
2023/3/4	土						
2023/3/5	日						
2023/3/6	月						
2023/3/7	火						
2023/3/8	水						
2023/3/9	木						
2023/3/10	金						
2023/3/11	土						
2023/3/12	日						
2023/3/13	月						
2023/3/14	火						
2023/3/15	水						
2023/3/16	木						
2023/3/17	金						
2023/3/18	土						
2023/3/19	日						
2023/3/20	月						
2023/3/21	火						【春分の日】
2023/3/22	水						
2023/3/23	木						
2023/3/24	金						
2023/3/25	土						
2023/3/26	日						
2023/3/27	月						
2023/3/28	火						
2023/3/29	水						
2023/3/30	木						
2023/3/31	金						

2022年 1年生 授業時間割表

(4月・5月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/4/1	金	A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	A) オリエンテーション	
2022/4/2	土						
2022/4/3	日						
2022/4/4	月			A) 新入生ガイダンス	A) 新入生ガイダンス	A) 新入生ガイダンス	
2022/4/5	火						
2022/4/6	水						
2022/4/7	木						健康診断(杉本)
2022/4/8	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	全学授業開始日
2022/4/9	土						
2022/4/10	日						
2022/4/11	月	入学式	入学式	A) 入学祝賀会	A) 入学祝賀会		入学式(予定)
2022/4/12	火	予備日/自己学習	医学のための統計学①	遺伝と遺伝子①	医療倫理学①	医学研究推進コース1	
2022/4/13	水	情報リテラシー	物理学基礎①	英語1A	初修外国語		
2022/4/14	木	生物学C①	初年次ゼミナール	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/4/15	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/4/16	土						
2022/4/17	日						
2022/4/18	月	基礎無機・物理化学①	基礎物理化学A①	英語1B			
2022/4/19	火	予備日/自己学習	医学のための統計学②	遺伝と遺伝子②	医学研究推進コース1	医学研究推進コース1	
2022/4/20	水	情報リテラシー	物理学基礎②	英語1A	初修外国語		
2022/4/21	木	生物学C②	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/4/22	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/4/23	土						
2022/4/24	日						
2022/4/25	月	基礎無機・物理化学②	基礎物理化学A②	英語1B	総合教養科目		
2022/4/26	火	予備日/自己学習	医学のための統計学③	遺伝と遺伝子③	医療倫理学②	医療倫理学③	
2022/4/27	水	情報リテラシー	物理学基礎③	英語1A	初修外国語		
2022/4/28	木	生物学C③	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/4/29	金						【昭和の日】
2022/4/30	土						
2022/5/1	日						
2022/5/2	月	基礎無機・物理化学③	基礎物理化学A③	英語1B	総合教養科目		
2022/5/3	火						【憲法記念日】
2022/5/4	水						【みどりの日】
2022/5/5	木						【こどもの日】
2022/5/6	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/5/7	土						
2022/5/8	日						
2022/5/9	月	基礎無機・物理化学④	基礎物理化学A④	英語1B	総合教養科目		
2022/5/10	火	予備日/自己学習	医学のための統計学④	遺伝と遺伝子④	医療倫理学④	医療倫理学⑤	
2022/5/11	水	情報リテラシー	物理学基礎④	英語1A	初修外国語		
2022/5/12	木	生物学C④	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/5/13	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/5/14	土						
2022/5/15	日						
2022/5/16	月	基礎無機・物理化学⑤	基礎物理化学A⑤	英語1B	総合教養科目		
2022/5/17	火	医学の為の統計学⑤	医学のための統計学⑤	遺伝と遺伝子⑤	医学研究推進コース1		
2022/5/18	水	情報リテラシー	物理学基礎⑤	英語1A	初修外国語		
2022/5/19	木	生物学C⑤	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/5/20	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/5/21	土						
2022/5/22	日						
2022/5/23	月	基礎無機・物理化学⑥	基礎物理化学A⑥	英語1B	総合教養科目		
2022/5/24	火	医学の為の統計学⑥	医学のための統計学⑥	遺伝と遺伝子⑥	医療倫理学⑥	医療倫理学⑦	
2022/5/25	水	情報リテラシー	物理学基礎⑥	英語1A	初修外国語		
2022/5/26	木	生物学C⑥	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/5/27	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/5/28	土						
2022/5/29	日						
2022/5/30	月	基礎無機・物理化学⑦	基礎物理化学A⑦	英語1B	総合教養科目		
2022/5/31	火	医学のための統計学⑦	医学のための統計学⑦	遺伝と遺伝子⑦	医学研究推進コース1		

2022年 1年生 授業時間割表

(6月・7月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/6/1	水	情報リテラシー	物理学基礎⑦	英語1A	初修外国語		
2022/6/2	木	生物学C⑦	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/6/3	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/6/4	土						
2022/6/5	日						
2022/6/6	月	基礎無機・物理化学⑧	基礎物理化学A⑧	英語1B	総合教養科目		
2022/6/7	火	医学のための統計学⑪	医学のための統計学⑫	遺伝と遺伝子⑧	医学研究推進コース1		
2022/6/8	水	情報リテラシー	物理学基礎⑧	英語1A	初修外国語		
2022/6/9	木	生物学C⑧	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論		
2022/6/10	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/6/11	土						
2022/6/12	日						
2022/6/13	月	基礎無機・物理化学⑨	基礎物理化学A⑨	英語1B	総合教養科目		
2022/6/14	火	医学のための統計学⑬	医学のための統計学⑭	遺伝と遺伝子⑨	医学研究推進コース1		
2022/6/15	水	情報リテラシー	物理学基礎⑨	英語1A	初修外国語		
2022/6/16	木	生物学C⑨	初年次ゼミナール	(S→A)	医学序論	物理学の臨床医学への応用	
2022/6/17	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/6/18	土						
2022/6/19	日						
2022/6/20	月	基礎無機・物理化学⑩	基礎物理化学A⑩	英語1B	総合教養科目		
2022/6/21	火	医学のための統計学⑮	医学のための統計学⑯	遺伝と遺伝子⑩	医学研究推進コース1		
2022/6/22	水	情報リテラシー	物理学基礎⑩	英語1A	初修外国語		
2022/6/23	木	生物学C⑩	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/6/24	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/6/25	土						補講
2022/6/26	日						
2022/6/27	月	基礎無機・物理化学⑪	基礎物理化学A⑪	英語1B	総合教養科目		
2022/6/28	火	予備日/自己学習	医学のための統計学⑰	遺伝と遺伝子⑪	医学研究推進コース1		
2022/6/29	水	情報リテラシー	物理学基礎⑪	英語1A	初修外国語		
2022/6/30	木	生物学C⑪	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/7/1	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/7/2	土						
2022/7/3	日						
2022/7/4	月	基礎無機・物理化学⑫	基礎物理化学A⑫	英語1B	総合教養科目		
2022/7/5	火	予備日/自己学習	医学のための統計学⑱	遺伝と遺伝子⑫	医学研究推進コース1		
2022/7/6	水	情報リテラシー	物理学基礎⑫	英語1A	初修外国語		
2022/7/7	木	生物学C⑫	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/7/8	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/7/9	土						
2022/7/10	日						
2022/7/11	月	基礎無機・物理化学⑬	基礎物理化学A⑬	英語1B	総合教養科目		
2022/7/12	火	予備日/自己学習	医学のための統計学⑲	遺伝と遺伝子⑬	医学研究推進コース1		
2022/7/13	水	情報リテラシー	物理学基礎⑬	英語1A	初修外国語		
2022/7/14	木	生物学C⑬	初年次ゼミナール	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/7/15	金				初年次ゼミナール	初年次ゼミナール	
2022/7/16	土						補講
2022/7/17	日						
2022/7/18	月	基礎無機・物理化学⑭	基礎物理化学A⑭	英語1B	総合教養科目		祝日授業日【海の日】
2022/7/19	火	予備日/自己学習	医学のための統計学⑳	遺伝と遺伝子⑭	遺伝と遺伝子⑮	医学研究推進コース1	
2022/7/20	水	情報リテラシー	物理学基礎⑭	英語1A	初修外国語		
2022/7/21	木	生物学C⑭			早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/7/22	金						授業・試験期間
2022/7/23	土						補講
2022/7/24	日						
2022/7/25	月	基礎無機・物理化学⑮	基礎物理化学A⑮	英語1B	総合教養科目		授業・試験期間
2022/7/26	火	物理学の臨床医学への応用	【試験】医学のための統計学	【試験】遺伝と遺伝子			授業・試験期間
2022/7/27	水		物理学基礎⑮	英語1A			授業・試験期間
2022/7/28	木	生物学C⑮	初年次ゼミナール	(S→A)	物理学の臨床医学への応用		授業・試験期間
2022/7/29	金						授業・試験期間
2022/7/30	土						
2022/7/31	日						

2022年 1年生 授業時間割表

(8月・9月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/8/1	月	【試験】基礎無機・物理化学	【試験】基礎物理化学A				授業・試験期間
2022/8/2	火						授業・試験期間
2022/8/3	水		【試験】物理学基礎				授業・試験期間
2022/8/4	木	【試験】生物学C					授業・試験期間
2022/8/5	金						試験予備日
2022/8/6	土						
2022/8/7	日						
2022/8/8	月						試験予備日
2022/8/9	火						試験予備日
2022/8/10	水						8/10～9/23夏季休業
2022/8/11	木						【山の日】
2022/8/12	金						
2022/8/13	土						
2022/8/14	日						
2022/8/15	月						
2022/8/16	火						
2022/8/17	水						
2022/8/18	木						
2022/8/19	金						
2022/8/20	土						
2022/8/21	日						
2022/8/22	月						
2022/8/23	火						
2022/8/24	水						
2022/8/25	木						
2022/8/26	金						
2022/8/27	土						
2022/8/28	日						
2022/8/29	月						
2022/8/30	火						
2022/8/31	水						
2022/9/1	木						
2022/9/2	金						
2022/9/3	土						
2022/9/4	日						
2022/9/5	月						
2022/9/6	火						
2022/9/7	水						
2022/9/8	木						
2022/9/9	金						研修期間
2022/9/10	土						
2022/9/11	日						
2022/9/12	月						研修期間
2022/9/13	火						研修期間
2022/9/14	水						研修期間
2022/9/15	木						研修期間
2022/9/16	金						研修期間
2022/9/17	土						
2022/9/18	日						
2022/9/19	月						【敬老の日】
2022/9/20	火						研修期間
2022/9/21	水				早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	研修期間
2022/9/22	木				早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	研修期間
2022/9/23	金						【秋分の日】
2022/9/24	土						
2022/9/25	日						
2022/9/26	月	総合教養科目	基礎有機化学①	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	全学授業開始日
2022/9/27	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	医学研究推進コース1		
2022/9/28	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/9/29	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学①	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/9/30	金	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	

2022年 1年生 授業時間割表

(10月・11月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/10/1	土						
2022/10/2	日						
2022/10/3	月	総合教養科目	基礎有機化学②	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/10/4	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/5	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/10/6	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学②	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/7	金	発生学	発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/8	土						
2022/10/9	日						
2022/10/10	月	総合教養科目	基礎有機化学③	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	祝日授業日【スポーツの日】
2022/10/11	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/12	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/10/13	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学③	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/14	金	発生学	発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/15	土						
2022/10/16	日						
2022/10/17	月	総合教養科目	基礎有機化学④	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/10/18	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/19	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/10/20	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学④	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/21	金	発生学	発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/10/22	土						
2022/10/23	日						
2022/10/24	月	総合教養科目	基礎有機化学⑤	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/10/25	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/26	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/10/27	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑤	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/10/28	金	発生学	発生学				
2022/10/29	土						
2022/10/30	日						
2022/10/31	月	総合教養科目	基礎有機化学⑥	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/1	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/11/2	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/11/3	木						【文化の日】
2022/11/4	金						学際休講
2022/11/5	土						
2022/11/6	日						
2022/11/7	月	総合教養科目	基礎有機化学⑦	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/8	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/11/9	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/11/10	木	総合教養科目	(S→A)	予備日/自己学習	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/11/11	金	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/11/12	土						
2022/11/13	日						
2022/11/14	月	総合教養科目	基礎有機化学⑧	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/15	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	細胞生物学⑥	予備日/自己学習	
2022/11/16	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/11/17	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑦	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/11/18	金	発生学	発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2022/11/19	土						
2022/11/20	日						
2022/11/21	月	総合教養科目	基礎有機化学⑨	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/22	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	細胞生物学⑧	細胞生物学⑨	
2022/11/23	水						【勤労感謝の日】
2022/11/24	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑩	早期臨床医学入門	早期臨床医学入門	
2022/11/25	金	【試験】発生学	予備日/自己学習	予備日/自己学習	早期臨床医学入門(予備)	早期臨床医学入門(予備)	
2022/11/26	土						補講日
2022/11/27	日						
2022/11/28	月	総合教養科目	基礎有機化学⑩	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/11/29	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	組織①		
2022/11/30	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	

2022年 1年生 授業時間割表

(12月・1月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2022/12/1	木	総合教養科目	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習		
2022/12/2	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織②	組織③		
2022/12/3	土						
2022/12/4	日						
2022/12/5	月	総合教養科目	基礎有機化学⑪	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/12/6	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)			
2022/12/7	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/12/8	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑪	【試験】早期臨床医学入門		
2022/12/9	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織④	組織⑤	組織⑥	
2022/12/10	土						
2022/12/11	日						
2022/12/12	月	総合教養科目	基礎有機化学⑫	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/12/13	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)			
2022/12/14	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/12/15	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑫	細胞生物学⑬		
2022/12/16	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織⑦	組織⑧	組織⑨	
2022/12/17	土						補講日
2022/12/18	日						
2022/12/19	月	総合教養科目	基礎有機化学⑬	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2022/12/20	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)			
2022/12/21	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2022/12/22	木	総合教養科目	(S→A)	細胞生物学⑭	細胞生物学⑮		
2022/12/23	金	予備日/自己学習	予備日/自己学習	組織⑩	組織⑪	組織⑫	
2022/12/24	土						冬期休業12/24～1/8
2022/12/25	日						
2022/12/26	月						
2022/12/27	火						
2022/12/28	水						
2022/12/29	木						
2022/12/30	金						
2022/12/31	土						
2023/1/1	日						【元旦】
2023/1/2	月						【振替休日】
2023/1/3	火						
2023/1/4	水						
2023/1/5	木						
2023/1/6	金	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2023/1/7	土						
2023/1/8	日						
2023/1/9	月						【成人の日】
2023/1/10	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2023/1/11	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2023/1/12	木	総合教養科目	(S→A)	組織⑬	組織⑭	組織⑮	
2023/1/13	金						杉本休講日
2023/1/14	土						
2023/1/15	日						
2023/1/16	月	総合教養科目	基礎有機化学⑭	英語2B	健康・スポーツ科学(講義)	総合教養科目	
2023/1/17	火	総合教養科目	健康・スポーツ科学(実習)	(S→A)	予備日/自己学習	予備日/自己学習	
2023/1/18	水	総合教養科目	総合教養科目	英語2A	初修外国語	総合教養科目	
2023/1/19	木	総合教養科目	(S→A)	組織⑯	組織⑰	組織⑱	
2023/1/20	金	メディカル・データ・サイエンス1	メディカル・データ・サイエンス1	組織実習予備日	組織実習予備日	組織実習予備日	授業・試験期間
2023/1/21	土						
2023/1/22	日						
2023/1/23	月		基礎有機化学⑮		健康・スポーツ科学(講義)		授業・試験期間
2023/1/24	火						授業・試験期間
2023/1/25	水						授業・試験期間
2023/1/26	木			【試験】細胞生物学			授業・試験期間
2023/1/27	金						授業・試験期間
2023/1/28	土						
2023/1/29	日						
2023/1/30	月				【試験】基礎有機化学		授業・試験期間
2023/1/31	火						授業・試験期間

2022年 1年生 授業時間割表

(2月・3月)

	場所	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	備考
月・水・金(前)	S	9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	
火(前)・金(後)	A						
火(後)・木	S→A						

※場所 S=杉本 A=阿倍野 S→A=杉本キャンパスから阿倍野キャンパスへの移動を指します

2023/2/1	水						授業・試験期間
2023/2/2	木						授業・試験期間
2023/2/3	金			【試験】組織	【試験】組織		授業・試験期間
2023/2/4	土						
2023/2/5	日						
2023/2/6	月						試験予備日
2023/2/7	火						試験予備日
2023/2/8	水						
2023/2/9	木						
2023/2/10	金						
2023/2/11	土						【建国記念の日】
2023/2/12	日						
2023/2/13	月						
2023/2/14	火						
2023/2/15	水						
2023/2/16	木						
2023/2/17	金						
2023/2/18	土						
2023/2/19	日						
2023/2/20	月						
2023/2/21	火						
2023/2/22	水						個別学力試験準備
2023/2/23	木						【天皇誕生日】
2023/2/24	金						個別学力試験
2023/2/25	土						個別学力試験
2023/2/26	日						
2023/2/27	月						
2023/2/28	火						
2023/3/1	水						
2023/3/2	木						
2023/3/3	金						
2023/3/4	土						
2023/3/5	日						
2023/3/6	月						
2023/3/7	火						
2023/3/8	水						
2023/3/9	木						
2023/3/10	金						
2023/3/11	土						
2023/3/12	日						
2023/3/13	月						
2023/3/14	火						
2023/3/15	水						
2023/3/16	木						
2023/3/17	金						
2023/3/18	土						
2023/3/19	日						
2023/3/20	月						
2023/3/21	火						【春分の日】
2023/3/22	水						
2023/3/23	木						
2023/3/24	金						
2023/3/25	土						
2023/3/26	日						
2023/3/27	月						
2023/3/28	火						
2023/3/29	水						
2023/3/30	木						
2023/3/31	金						

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11002-J1		
授業科目名	医学のための統計学				
担当教員氏名	福井 充				
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限	その他	
授業形態	講義				
科目分類					
配当年次	1年		単位数	2.6	

* 【シラバス情報】

授業概要	実験あるいは調査によって得られたデータの統計的考察は、医学を学んでいく上での素養となる。本講義では統計的考察を行なう上で必要な基礎的な概念と、推定・検定の概念を習得するとともに、実際の問題に適応する統計的手法の習得を目標とする
到達目標	次の各項目を身につけることを目標とする 1. 標本調査の概念を理解する 2. 1変量・2変量の記述統計を理解し、作表・作図・計算ができる 3. 確率分布の概念を理解し、正規分布・二項分布・ポアソン分布の確率計算ができる 4. 仮説検定、信頼区間の概念を理解する 5. 1変量および2変量データについての基本的な検定・推定手法について理解し、データに応じて正しく使用できる

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	4/12・2限 福井 充 統計学とは。標本調査の考え方	各回に紹介する統計量の定義式・例題を事前に配布するので、各自例題で確認しておくこと。 講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第2回	4/19・2限 福井 充 記述統計(単変量)：度数分布表・ヒストグラム、平均・分散・標準偏差	
第3回	4/26・2限 福井 充 記述統計(単変量)：箱ひげ図、中央値・パーセント点	
第4回	5/10・2限 福井 充 記述統計(2変量)：散布図、相関係数	
第5回	5/17・1限 福井 充 記述統計(2変量)：回帰直線	
第6回	5/17・2限 福井 充 確率分布：確率・確率変数・確率分布の概念	各回に紹介する確率分布の定義式・例題を事前に配布するので、各自例題で確認しておくこと。 講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第7回	5/24・1限 福井 充 確率分布：代表的な確率分布(二項分布・ポアソン分布)	
第8回	5/24・2限 福井 充 確率分布：連続分布、確率密度	
第9回	5/31・1限 福井 充 確率分布：代表的な確率分布(正規分布)	
第10回	5/31・2限 福井 充 検定の考え方：仮説検定、P値、有意水準	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第11回	6/7・1限 福井 充	
第12回	6/7・2限 福井 充 検定の考え方：検出力、症例数設計	
第13回	6/14・1限 福井 充	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。
第14回	6/14・2限 福井 充 推定の考え方：点推定、区間推定	
第15回	6/21・1限 福井 充 各種統計的手法の紹介：F検定 + 検定 カイ2乗検定	講義後、テキスト等の演習問題で学習内容を確認すること。

第16回	6/21・2限	福井 充	正、t検定、カイ2乗検定、Wilcoxon検定などについて	理解させること。
第17回	6/28・2限	福井 充	各種統計的手法の演習：F検定、t検定、カイ2乗検定、Wilcoxon検定などについて	グループごとに事前に指示された演習問題を解答し、発表資料を準備すること
第18回	7/5・2限	福井 充	Wilcoxon検定などについて	演習後、自グループ発表問題以外について復
第19回	7/12・2限	福井 充	シミュレーションによる実験	事前配布資料により実験内容について確認し
第20回	7/19・2限	福井 充	/解析実習	ておくこと

* 成績評価方法	(1)試験・レポート・演習により到達目標の達成度について評価を行う (2)試験(70%程度)・レポート(20%程度)・演習(10%程度)で評価する。演習・実習への参加度合いも加味する (3)合格には最低限の理解と、総合で60%以上の得点を必要とする
* 履修上の注意	・講義資料、演習問題等の配付や課題等の提出などにWebシステムを使用する ・解析学(微積分)・線形代数学および集合論の概念・記号等に関する知識は既知のもので、必要に応じて各自で補うこと ・関数電卓を用意すること。試験は関数電卓の使用を前提とする ・講義中にWebを通じての提出等を求めることがあるので、学内LANに接続可能なスマートフォン・タブレット・PC等を用意すること(用意できない者には別途対応する) ※いずれも詳細は授業時に指示する
* 教科書	必携：丹後俊郎著「医学への統計学 第3版」(朝倉書店) 補足資料、演習問題を事前もしくは講義中に配布する
* 参考文献	特になし
* オフィスアワー	原則として平日の10:00～17:00
* 教員への連絡方法	E-mail：fukui@med.osaka-cu.ac.jp
* その他	● コアカリキュラムへの対応 B 社会と医学・医療 B-1 集団に対する医療 B-1-1) 統計の基礎 B-1-2) 統計手法の適用 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 8.科学的探究 (智) level 1 9.生涯にわたって共に学ぶ姿勢(智・仁・勇) level 1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11001-J1
授業科目名	医療倫理学		
担当教員氏名	服部 俊子（都営経営研究科）		
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	0.9

* 【シラバス情報】

授業概要	近代医学・技術の進歩は、SFとリアリティの境界が不明瞭な世界を生み出し、われわれ人間のあり方・生き方の問い直しを迫る。人はいつ人になるのか、人の尊厳とは何か、人の生命の質とは何か…近代医学・技術の問題が浮上する医療の臨床で医師はどうすべきかが問われる。本科目は、その問いに応答していく力を身につけるため、医療倫理学の基礎知識を学び、具体的事例に即して倫理的問題を分析する。
到達目標	近代医療の臨床では、医師は医学的診断と同時に「医師はどうすべきか」という医師の倫理的判断が求められる。本科目は、臨床の倫理的問題を適切に特定し、問題に対する判断とその理由を、他者にも十分理解できるよう明晰に説明することを目標とする。

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	4/26・4限	服部 俊子	・道徳と倫理 ・医療倫理学の基礎① 生命倫理と医療倫理 近代医学のまなざし	事後：授業中に示されたレポート課題に取り組む。
第2回	4/26・5限	服部 俊子	・医療倫理学の基礎② 医プロフェッショナリズム 医療現場の対策：臨床倫理と研究倫理	事前：テキスト第1・10・16章を読む。 事後：授業中に示された事例検討課題に取り組む。
第3回	5/24・4限	服部 俊子	脳死と臓器移植	
第4回	5/24・5限	服部 俊子	尊厳死と安楽死	事前：テキスト第8章・第9章を読む。 事後：授業中に示された事例検討課題に取り組む。
第5回	5/31・5限	服部 俊子	輸血拒否と自己決定	
第6回	6/7・5限	服部 俊子	出生前診断・人工妊娠中絶	事前：テキスト第4章を読む。 事後：授業中に示された事例検討課題に取り組む。
第7回	6/28・5限	服部 俊子	デザイナーベビー	

成績評価方法	(1)到達目標の達成度は、評価基準（レポート課題提示の際に示す）に応じて判定する。 (2)評価方法は、第1・3・5・7授業回に提示するレポート評価100%とする。 (3) 合格には60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	映像や実際のケースから倫理的に考えるワーク（個人・グループ）を行うために、事前課題としてテキストの該当章を読んでおいてください。授業で、オンライン投票等を使う予

* 教科書	霜田求編『生命倫理テキストブック』法律文化社、2022年
* 参考文献	アンソニー・ウエストン『ここからはじまる倫理』野矢茂樹ほか訳、春秋社、2004年 梶田昭『医学の歴史』講談社、2015年 リュック・ペリノ『0番目の患者 逆説の医学史』広野和美・金丸啓子訳、柏書房、2020年 World Medical Association Ethics Manual, WMA, 2007(日本医師会訳)
* オフィスアワー	メールでアポイントメントをとること
* 教員への連絡方法 (メールアドレス等)	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
* その他	A-1 プロフェッショナリズム A-1-1) 医の倫理と生命倫理 A-1-2) 患者中心の視点 A-1-3) 医師としての責務と裁量権 B-3 医学研究と倫理 B-3-1) 倫理規範と実践倫理 ● 該当するコンピテンス 1.プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level1 2.医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level1 5.チーム医療の実践 (仁) level1 6.医療の質と安全の管理 (仁) level1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMXCLM11001-J1
授業科目名	医学序論		
担当教員氏名	首藤 太一（教務委員長）他		
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	1

* 【シラバス情報】

授業概要	1年生が受講する科目の大部分は総合教育科目（一般教養）、基礎教育科目（物理、化学、推計学等）と外国語科目からなる全学共通教育である。これらは良き医療人となるための基盤形成に重要なものであるが、受動的な学習に慣れた学生にとって、その意義を見失いがちである。 将来、「智・仁・勇」を兼ね備えた医師となるために必要な点について、医学部臨床系教授陣を中心にオムニバスで医学・医療に関連するさまざまな話題を提供する。
到達目標	医学・医療を学ぶ上で、ともすれば無意味に感じられることの中に、如何に重要な考え方が含まれているかに気づかせ、能動的な姿勢を萌芽させたい。

授業回	各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	4/21・4限	首藤太一	自分が診てもらいたい医師を目指せ！
第2回	4/28・4限	掛屋弘	医師になるために知っておきたい感染症の基礎知識
第3回	5/12・4限	石川隆紀	コロナ禍において法医学者が思うこと
第4回	5/19・4限	柴田利彦	外科って？ 外科医って？
第5回	5/26・4限	濱崎孝史	こどもを診るということ
第6回	6/2・4限	角南貴司子	医工で障がいを乗り越える！
第7回	6/9・4限	樋口由美	リハビリテーションの可能性
第8回	6/16・4限	日野雅之	医者への第一歩 ～患者さんと話してみよう～

成績評価方法	各講義はオムニバス形式であるので、成績評価は講義の出席とレポートにより行われる。
履修上の注意	第8回は患者さんに来ていただいて、講義を進める。身だしなみには十分留意すること。
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	9:00-17:00
教員への連絡方法	学務課(i-gakumu@med.osaka-cu.ac.jp)
その他	● コアカリキュラムへの対応 A 医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション A-4-2) 患者と医師の関係 B 社会と医学・医療 B-2 法医学と関連法規 B-2-1) 死と法 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇）level1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇）level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇）level1 5. チーム医療の実践（仁）level1 6. 医療の質と安全の管理（仁）level1 8. 科学的探究（智）level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11003-J1
授業科目名	遺伝と遺伝子		
担当教員氏名	徳永 文稔（分子病態学）他		
開講年度・学期	2022	曜日・時限	その他
授業形態	講義		
科目分類			
配当年度	1年	単位数	2

* 【シラバス情報】

* 授業概要	1953年にワトソンとクリックによってDNAの二重らせん構造が解明され、遺伝情報の仕組みが解明された以降、「遺伝と遺伝子」に関する分子レベルの研究は最も目覚ましく進展を遂げている学術領域である。近年、多くの疾患に遺伝子レベルの異常が明らかにされ、臨床医学においても重要性は増している。本コースでは、生命の設計図である遺伝子の構造を理解し、生体におけるその役割を分子レベルから、細胞、個体、さらに、進化のレベルまで理解できるよう指導する。講義では、テキストとして「Essential細胞生物学（原書第5版）」を用いて内容を分かりやすく解説し、遺伝子に関する基本的な概念を正しく十分理解させ、医学・生物学の分野における理解を深めることにも貢献できるように行う。
* 到達目標	主要な到達目標は以下の通りである。個別の到達目標については、別途記載する。 ・ 核酸の構造と機能について説明できる ・ 遺伝子と染色体の構造について説明できる ・ 遺伝子の複製、修復について説明できる ・ プロモーター、転写因子等による遺伝子発現調節について説明できる ・ DNAからRNAを経てタンパク質合成に至る遺伝情報の変換過程について説明できる ・ 遺伝子の解析技法について説明できる

*

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	4/12・3限	徳永 文稔	タンパク質	Essential細胞生物学4章の学習内容の定着
第2回	4/19・3限	徳永 文稔	メンデルの法則	Essential細胞生物学19章の学習内容の定着
第3回	4/26・3限	徳永 文稔	核酸の化学	Essential細胞生物学5章の学習内容の定着
第4回	5/10・3限	徳永 文稔	染色体の構造と機能	Essential細胞生物学5章の学習内容の定着
第5回	5/17・3限	徳永 文稔	DNA複製	Essential細胞生物学6章の学習内容の定着
第6回	5/24・3限	徳永 文稔	DNA修復	Essential細胞生物学6章の学習内容の定着
第7回	5/31・3限	及川 大輔	DNAからRNAへ	Essential細胞生物学7章の学習内容の定着
第8回	6/7・3限	及川 大輔	RNAからタンパク質へ	Essential細胞生物学7章の学習内容の定着
第9回	6/14・3限	及川 大輔	原核細胞の遺伝子転写	Essential細胞生物学8章の学習内容の定着
第10回	6/21・3限	清水 康平	真核細胞の遺伝子転写 1	Essential細胞生物学8章の学習内容の定着
第11回	6/28・3限	清水 康平	真核細胞の遺伝子転写 2	Essential細胞生物学8章の学習内容の定着
第12回	7/5・3限	及川 大輔	遺伝子とゲノム進化	Essential細胞生物学9章の学習内容の定着
第13回	7/12・3限	塩田 正之	遺伝子クローニング技術	Essential細胞生物学10章の学習内容の定着
第14回	7/19・3限	塩田 正之	DNA・RNAの解析	Essential細胞生物学10章の学習内容の定着
第15回	7/19・4限	徳永 文稔	モデル生物	Essential細胞生物学1章の学習内容の定着
第16回	7/26・3限		遺伝と遺伝子コース試験	

* 成績評価方法	到達目標の達成度をコース終了時の筆記試験(90%)と講義時の態度・小テスト(10%)を総合して評価し、60%以上の成績が必要である。
* 履修上の注意	医学部医学科履修規程に従い、所定の出席がなければ試験を受けることができない。
* 教科書	必携：Essential細胞生物学 原書第5版（南江堂）
* 参考文献	The Cell 細胞の分子生物学 第6版（ニュートンプレス） ワトソン 遺伝子の分子生物学 第7版（東京電機大学出版局）
* オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)。
* 教員への連絡方法 (メールアドレス等)	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること。
* その他	●コアカリキュラムへの対応 C-1-1)-(1), C-1-1)-(2), C-2-5), C-4-1) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム(智・仁・勇) level 1 2. 医学知識と問題対応能力(智・仁・勇) level 1 8. 科学的探究(智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢(智・仁・勇) level 1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11004-J1		
授業科目名	細胞生物学				
担当教員氏名	徳永 文稔（分子病態学）他				
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限	その他	
授業形態	講義				
科目分類					
配当年次	1年	単位数	2		

* 【シラバス情報】

* 授業概要	ヒトの体は約 60兆個の細胞から構成され、これらが集積することで組織・器官を形成する。一つの細胞には多様な細胞小器官が存在し、それぞれ重要な役割を果たす。細胞は外界からの刺激に応答して遺伝子発現を変化させ、形態や運動性を変化させる。また、細胞分裂によって増殖するが、最終的に細胞死に至る経路も明らかになってきた。本講義では、細胞を動的な生体単位として捉え、基礎から疾患との関連性を理解できるように指導する。講義では、テキストとして「Essential細胞生物学（原書第5版）」を用いて内容を分かりやすく解説し、細胞生物学に関する基本的な概念を正しく十分理解させる。
* 到達目標	主要な到達目標は以下の通りである。個別の到達目標については、別途記載する。 - 細胞の構造と細胞小器官の機能を説明できる - 細胞外からの情報伝達機構を説明できる - 細胞膜の機能分子の多様性とその機能を説明できる - イオンチャネル、神経・筋で発生する活動電位の発生・伝播機序について説明できる - 細胞内タンパク質分解とその制御について説明できる - 細胞骨格、モータータンパク質、細胞内物質輸送について説明できる - 細胞周期の制御機構と有性生殖、細胞死経路について説明できる - 細胞接着因子、細胞外マトリックスの構造と機能を説明できる - 細胞の多分化能獲得について説明できる

*

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	9/29・3限	徳永 文稔	細胞構造	Essential細胞生物学1章の学習内容の定着
第2回	10/6・3限	水関 健司	細胞膜、輸送体、膜電位	Essential細胞生物学12章の学習内容の定着
第3回	10/13・3限	水関 健司	イオンチャネルシグナル	Essential細胞生物学12章の学習内容の定着
第4回	10/20・3限	水関 健司	神経系の情報伝達	Essential細胞生物学12章の学習内容の定着
第5回	10/27・3限	及川 大輔	細胞内区画と選別輸送、分解	Essential細胞生物学15章の学習内容の定着
第6回	11/15・4限	及川 大輔	小胞輸送	Essential細胞生物学15章の学習内容の定着
第7回	11/17・3限	徳永 文稔	細胞のシグナル伝達 1	Essential細胞生物学16章の学習内容の定着
第8回	11/22・4限	徳永 文稔	細胞のシグナル伝達 2	Essential細胞生物学16章の学習内容の定着
第9回	11/22・5限	塩田 正之	細胞骨格と運動	Essential細胞生物学17章の学習内容の定着
第10回	11/24・3限	清水 康平	細胞周期	Essential細胞生物学18章の学習内容の定着
第11回	12/8・3限	高杉 征樹	細胞死	Essential細胞生物学18章の学習内容の定着
第12回	12/15・3限	徳永 文稔	有性生殖	Essential細胞生物学19章の学習内容の定着
第13回	12/15・4限	塩田 正之	細胞外マトリックス	Essential細胞生物学20章の学習内容の定着
第14回	12/22・3限	北西 卓磨	細胞接着と情報伝達	Essential細胞生物学20章の学習内容の定着
第15回	12/22・4限	清水 康平	幹細胞、がん	Essential細胞生物学20章の学習内容の定着
第16回	1/26・3限		細胞生物学コース試験	

* 成績評価方法	到達目標の達成度をコース終了時の筆記試験(90%)と講義時の態度・小テスト(10%)を総合して評価し、60%以上の成績が必要である。
* 履修上の注意	医学部医学科履修規程に従い、所定の出席がなければ試験を受けることができない。
* 教科書	必携：Essential細胞生物学 原書第5版（南江堂）
* 参考文献	The Cell 細胞の分子生物学 第6版（ニュートンプレス） シグナル伝達 第2版（メディカル・サイエンス・インターナショナル）
* オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)。
* 教員への連絡方法 (メールアドレス等)	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること。
* その他	●コアカリキュラムへの対応 C-1-1)-(1), C-2-1)-(1), C-2-1)-(2), C-2-3)-(1), C-2-3)-(2), C-4-2) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題対応能力(智・仁・勇) level 1 8. 科学的探究(智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢(智・仁・勇) level 1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11005-J4
授業科目名	細胞と組織の基本構造と機能		
担当教員氏名	池田 一雄（機能細胞形態学）他		
開講年度・学期	2022	後期	曜日・時限
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	1.6

* 【シラバス情報】

授業概要	本コースは、正常な細胞についての形態・微細形態・基本的な機能について学び、また、その多様性を理解する。さらに細胞の集団である組織についての総論を学ぶ（組織学総論）。光学顕微鏡を用いた正常組織総論の実習を同時に行う。本コースは系統別（臓器別）に展開される各論コースの基盤として位置づけられる。
到達目標	生物学、生命科学を理解するための基礎である組織学総論を学び、上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の機能と構造が説明できるようになる。

*

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	11/29・3限	池田 一雄	上皮組織	エルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「5 上皮組織」で、学習内容の知識を定着させる
第2回	12/2・3限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（上皮組織）	
第3回	12/2・4限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
第4回	12/ 9 ・3限	松原 勤	結合組織	エルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「4 支持（結合）組織」で、学習内容の知識を定着させる
第5回	12/ 9 ・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（上皮組織）	
第6回	12/ 9 ・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
第7回	12/16・3限	湯浅 秀人	骨格系組織	エルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「10 骨格系組織」で、学習内容の知識を定着させる
第8回	12/16・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（骨格系組織）	
第9回	12/16・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
第10回	12/23・3限	松原 勤	血液	人体の正常構造と機能 第4版「7 血液、免疫 p.480-523」ならびにエルゼビア e-laearning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「3 血液、造血、骨髄」で、学習内容の知識を定着させる
第11回	12/23・4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（血液）	
第12回	12/23・5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		

第13回	1 /12 ・ 3限	宇留島 隼人	筋組織	人体の正常構造と機能 第4版「11 運動器筋系 p.758-770」ならびにエルゼビア e-learning ウィーター 図説で学ぶ組織学「6. 筋組織」で、学習内容の知識を定着させる
第14回	1 /12 ・ 4限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（筋組織）	
第15回	1 /12 ・ 5限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
第16回	1 /19 ・ 3 限	池田 一雄	神経組織	エルゼビア e-learning ウィーター 図説で学ぶ組織学 「7 骨格系組織」で、学習内容の知識を定着させる
第17回	1 /19 ・ 4 限	池田 一雄 松原 勤	組織学実習（神経組織）	
第18回	1 /19 ・ 5 限	宇留島 隼人 湯浅 秀人		
	1 /20 ・ 3限	池田 一雄	組織学実習予備日	
	1 /20 ・ 4限	松原 勤 宇留島 隼人		
	1 /20 ・ 5限	湯浅 秀人		

* 成績評価方法	(1) 小テストを含む試験ならびにレポートによって各単元の学修達成度を測る。 (2) 原則、試験80%ならびにレポート20%で成績評価をする。 (3) 合格には、総合して60%以上の成績が必要である。
* 履修上の注意	医学部規則により、原則すべての実習に参加しない限り、単位認定されない。 学修態度が著しく悪い時、その授業への参加を認めないため、不合格になる場合がある。
* 教科書	必携：Ross組織学（南江堂）、人体の正常構造と機能（日本医事新報社）、組織学カラーアトラス ガートナー/ハイアット（メディカルインターナショナル）、エルゼビア Foundation：ClinicalKey Student Foundation Japan ウィーター 図説で学ぶ組織学 参考：ジュンケラ組織学、標準組織学、入門組織学
* 参考文献	特になし
* オフィスアワー	10:00-16:00 (対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)
* 教員への連絡方法 (メールアドレス等)	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
* その他	●コアカリキュラムへの対応 C-1-1)-(1), C-2-1), C-2-2) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム (智・仁・勇) level 1 2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level 1 8. 科学的探究 (智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11006-J1		
授業科目名	発生学				
担当教員氏名	近藤 誠, 甲斐 理武（器官構築形態学）, 小野 勝彦（京都府立医科大学）				
開講年度・学期	2022	後期	曜日・時限	その他	
授業形態	講義				
科目分類					
配当年次	1年	単位数	1.3		

* 【シラバス情報】

授業概要	本コースでは、受精卵からヒトになるまでの発生過程を概観し、基本体制を作る過程や器官形成の分子メカニズムについて学習する。さらに、発生現象の停滞や遅延によって生じる先天異常についても学習する。
到達目標	受精卵からヒトになる過程を概説し、器官形成過程を説明できる。

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	10/7・1限	甲斐 理武	脊椎動物の基本パターンと胚発生	(事前) 教科書, Moodleにアップロードする講義資料などで講義主題の予習を行う。 (事後) 教科書, 資料などで講義内容を復習するほか, エルゼビアe-Reviewの問題を解き, 知識の定着を図る。
第2回	10/7・2限		受精・着床・胚盤胞・胚葉の分化と胚発生	
第3回	10/14・1限	甲斐 理武	胚膜	
第4回	10/14・2限		咽頭弓と頭頸部の発生	
第5回	10/21・1限	小野 勝彦	神経系の発生 1	
第6回	10/21・2限		神経系の発生 2	
第7回	10/28・1限	甲斐 理武	循環器系の発生	
第8回	10/28・2限		消化器・呼吸器系の発生	
第9回	11/18・1限	甲斐 理武	泌尿器系の発生	
第10回	11/18・2限		骨格・筋・四肢の発生	
第11回	11/25・1限	器官構築形態学	試験	

成績評価方法	(1)試験 (講義時間の中で行う小テストを含む) によって学修達成度を測る。 (2)合格には, 総合して60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	学修態度が著しく悪い時、その授業への参加を認めないため、不合格になる場合がある。
教科書	ラングマン・人体発生学 (メディカルサイエンスインターナショナル) または ムーア・人体発生学 (医歯薬出版)
参考文献	Gilbert・Developmental Biology (Sinauer)
オフィスアワー	10:00-16:00 (急用でない限り事前にアポイントメントを取ることを)
教員への連絡方法	Moodleのメッセージ機能による
その他	●コアカリキュラムへの対応 C-2-4) ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2. 医学知識と問題対応能力 (智・仁・勇) level 1 8. 科学的探究 (智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMASOM1133-J4
授業科目名	メディカル・データ・サイエンス1		
担当教員氏名	新谷歩, 加葉田大志朗, 太田恵子		
開講年度・学期	2022	後期	曜日・時限
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	0.7

* 【シラバス情報】

授業概要	医師は臨床での診察のみならず、日常臨床の疑問に応えるための研究能力を身に着けることが求められている。臨床研究を行う際に、多くの医師の壁となっているのが医療統計学である。この授業ではコンピュータの操作から、データ解析の基礎を学ぶ。
到達目標	コンピュータ操作の基礎力を付けると同時にデータ解析の楽しさや意義を実感すること。また2年次より開講される「メディカル・データ・サイエンス」講義へのスムーズな導入が可能となる素地を身に着ける。例) 表計算ソフト (Excel) の簡単な使い方・データセットを用いた解析方法など

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1-3回	12/2・1-3限 加葉田 (座学) 講義の概要 (座学・実習) Excelを使ったデータ	課題提出
第4-6回	12/9・1-3限 加葉田 (座学) 疫学研究と計画の立て方 (実習) 研究仮説を立ててみよう	課題提出
第7-9回	12/16・1-3限 加葉田, 太田 (座学・実習) REDCapの使い方 (実習) REDCapでデータを集めてみよう	課題提出
第10-12回	1/20・1-3限 加葉田 (実習) 収集したデータの解析	課題提出

成績評価方法	(1) 課題によって各単元の学修達成度を測る。 (2) 課題100% ※全ての課題を提出を期限内に行った場合のみ成績を評価する。 (3) 原則, 合格には、総合して60%以上の成績が必要である。
履修上の注意	講義初回への参加を必須とし、参加しない、参加態度が悪い場合、単位認定を行わない。 事前に配布する受講手順書等の指示を遵守しない場合は単位認定を行わない。 講義は基本的にオンラインで実施する。 コンピュータ・Excelを用いた実習を行うため、事前指示に従って準備すること。
教科書	特になし
参考文献	特になし
オフィスアワー	講義手順書に指定する方法で連絡を取ること。
教員への連絡方法 (メールアドレス等)	講義手順書に指定する方法で連絡を取ること。
その他	●コアカリキュラムへの対応 B 社会と医学・医療 B-1 集団に対する医療 B-1-1) 統計の基礎 B-1-2) 統計手法の適用 B-1-3) 根拠に基づいた医療<EBM> ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 8. 科学的探究 (智) level 1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (智・仁・勇) level 1

* 【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMABAM11007-J1	
授業科目名	医学研究推進コース1				
担当教員氏名	金子 幸弘（教務委員会 副委員長） 他				
開講年度・学期	2022	通年	曜日・時限	その他	
授業形態	講義				
科目分類					
配当年次	1年		単位数	1.4	

* 【シラバス情報】

* 授業概要	特に昨今は根拠に基づいた医療（evidence based medicine, EBM）が求められており、科学的視点は基礎研究者だけでなく日常診療に当たる医師にも期待されている能力である。課題を発見し、批判的に吟味し、正しい方法で解決するといった科学的視点を養成するための医学プログラムは発展途上にあり、探究心を持つことの重要性も、コアカリキュラムで述べられているものの、研究を促進するための方策面の課題は取り残された状態にある。 本コースは各教室で行っている研究を分かりやすく説明し、その魅力を伝えるべく2016年度より設けられたものであり、医学研究の第一線の研究者による最先端の内容を講義する
* 到達目標	修得してほしい能力は以下の通りである。 ☐ 原著論文、総説、図書などの相違を説明できる。 ☐ CiNii、PubMed、UpToDateなどを用いて、医学文献を検索し、収集することができる。 ☐ 医学文献を批判的に吟味し、課題を発見・設定することができる。

*

授業回		各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	4/12・5限	金子 幸弘 仁木 満美子	オリエンテーション	指定日までにアンケートに回答すること
第2回	4/19・4-5限	図書館	文献検索の方法1・2/ 文献検索実習1	指定日までに小テストを受験すること
第3回	5/17・4限	水関 健司 金子 幸弘	海馬の空間表象/ 文献検索実習2	指定日までにアンケートに回答すること
第4回	5/31・4限	福島 若葉	ワクチンの疫学研究/研究室 探訪	指定日までにアンケートに回答すること
第5回	6/7・4限	鰐淵 英機 大谷 直子	環境病理学の醍醐味/生体の 恒常性維持機構とその破綻	指定日までにアンケートに回答すること
第6回	6/14・4限	城戸 康年	Beyond Tropical Medicine/ 研究室探訪	指定日までにアンケートに回答すること
第7回	6/21・4限	石井 聡	健康科学領域のヒト脳機能イ メージング研究/研究室探訪	指定日までにアンケートに回答すること
第8回	6/28・4限	林 朝茂	生活習慣病発症の危険因子の 探究/医学論文	指定日までにアンケートに回答すること
第9回	7/5・4限	金子 幸弘	レポート作成実習1・2	指定日までにアンケートに回答すること
第10回	7/12・4限	金子 幸弘	レポート作成実習3・4	指定日までにレポートを提出すること
第11回	7/12・4限	金子 幸弘	レポート作成実習3・4	指定日までにレポートを提出すること
第12回	9/27・4限	金子 幸弘	レポートの発表	指定日までにレポートを提出すること

* 成績評価方法	授業参加度（発表など）、コース内で実施するアンケートへの回答、課題の提出、レポートの提出を評価する。 レポートは基礎点55点、ルーブリックによる加点によって100点満点で評価する。 基礎点は、提出の遅れや参加時の態度などによって減点することがある。 詳細は初回オリエンテーション時に周知する。
* 履修上の注意	初回のみ5時限（17：20-19：00）となるので注意すること。 持参可能なパソコンが必要となるので、各自準備すること。スペックは大学での推奨と同一。パソコンが苦手、もしくは初めて使用する学生は別途指導するので申し出ること。
* 教科書	文献検索に関する推奨テキスト ☐ PICOから始める医学文献検索のすすめ：書籍／南江堂

* 参考文献	レポート作成に関する参考図書 □黒木 登志夫. 知的文章術入門 □都筑 学. 大学1年生のための 伝わるレポートの書き方 □河本 健, 石井 達也. トップジャーナル395編の「型」で書く医学英語論文～言語学的 Move 分析が明かした執筆の武器になるパターンと頻出表現 □田村房子. アクセプトされる英語医学論文作成術—最新の臨床研究から学ぼう! □酒井 聡樹. これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版 □木下 是雄. 理科系の作文技術 □井下 千以子. 思考を鍛えるレポート・論文作成法(第2版) 以上のいずれかは必ず読んでおくこと。 参考になるURL □JCMUE統一投稿規定 http://www.jcmue.ac.jp/
* オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)
* 教員への連絡方法	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
* その他	● コアカリキュラムへの対応 A-2 医学知識と問題対応能力 level 1 A-2-1) 課題探求・解決能力 level 1 学修目標：①必要な課題を自ら発見できる。②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。④課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-8 科学的探究 level 1 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 level 1 学修目標：①研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。③患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。④抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学科学研究等）に参加することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 level 1 A-9-1) 生涯学習への準備 level 1 学修目標：①生涯学習の重要性を説明できる。②生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level1 8. 科学的探究（智） level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level1 ● レポート評価者 多くの教員の陰のご尽力により成り立っている。 甲斐 理武、東島 沙弥佳、松原 勤、湯浅 秀人、千葉 秀平、金 明月、松本 早紀子、及川 大輔、清水 康平、寺脇 正剛、北西 卓磨、松本 英之、宮脇 寛行、高杉 征樹、山岸 良多、神谷 知憲、國本 浩之、小島 裕正、植松 未帆、藤本 康介、佐藤 慎太郎、石井 聡、鈴木 周五、藤岡 正喜、梯 アンナ、魏 民、松永 慎司、徳留 健太郎、山口 雄大、城戸 康年、中釜 悠、加賀谷 渉、仁木 満美子、坪内 泰志、老沼 研一、大藤 さとこ、加瀬 哲男、佐藤 恭子、柴田 幹子、吉田 寿子、小野寺 理恵、今井 匠 ● その他

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMABAM11007-J1
授業科目名	医学研究推進コース1		
担当教員氏名	金子 幸弘（教務委員会 副委員長） 他 （他の担当教員は最後に掲載します）		
開講年度・学期	2022	通年	曜日・時限
授業形態	講義		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	1.4

* 【シラバス情報】

* 授業概要	特に昨今は根拠に基づいた医療（evidence based medicine, EBM）が求められており、科学的視点は基礎研究者だけでなく日常診療に当たる医師にも期待されている能力である。課題を発見し、批判的に吟味し、正しい方法で解決するといった科学的視点を養成するための医学プログラムは発展途上にあり、探究心を持つことの重要性も、コアカリキュラムで述べられているものの、研究を促進するための方策面の課題は取り残された状態にある。 本コースは各教室で行っている研究を分かりやすく説明し、その魅力を伝えるべく2016年度より設けられたものであり、医学研究の第一線の研究者による最先端の内容を講義する修得してほしい能力は以下の通りである。
* 到達目標	□原著論文、総説、図書などの相違を説明できる。 □CiNii、PubMed、UpToDateなどを用いて、医学文献を検索し、収集することができる。 □医学文献を批判的に吟味し、課題を発見・設定することができる。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	4/12・5限 金子 幸弘 仁木 満美子	オリエンテーション
第2回	4/19・4-5限 図書館	文献検索の方法1・2/ 文献検索実習1
第3回	5/17・4限 水関 健司 金子 幸弘	海馬の空間表象/ 文献検索実習2
第4回	5/31・4限 福島 若葉	ワクチンの疫学研究/研究室 探訪
第5回	6/7・4限 鰐淵 英機 大谷 直子	環境病理学の醍醐味/生体の 恒常性維持機構とその破綻
第6回	6/14・4限 城戸 康年	Beyond Tropical Medicine/ 研究室探訪
第7回	6/21・4限 石井 聡	健康科学領域のヒト脳機能イ メージング研究/研究室探訪
第8回	6/28・4限 林 朝茂	生活習慣病発症の危険因子の 探究/医学論文
第9回	7/5・4限 金子 幸弘	レポート作成実習1・2
第10回	7/12・4限 金子 幸弘	レポート作成実習3・4
第11回	7/12・4限 金子 幸弘	レポート作成実習3・4
第12回	9/27・4限 金子 幸弘	レポートの発表

* 成績評価方法	授業参加度（発表など）、コース内で実施するアンケートへの回答、課題の提出、レポートの提出を評価する。 レポートは基礎点55点、ルーブリックによる加点によって100点満点で評価する。 基礎点は、提出の遅れや参加時の態度などによって減点することがある。 詳細は初回オリエンテーション時に周知する。
* 履修上の注意	初回のみ5時限（17：20-19：00）となるので注意すること。 持参可能なパソコンが必要となるので、各自準備すること。スペックは大学での推奨と同一。パソコンが苦手、もしくは初めて使用する学生は別途指導するので申し出ること。
* 教科書	文献検索に関する推奨テキスト □PICOから始める医学文献検索のすすめ：書籍／南江堂

* 参考文献	レポート作成に関する参考図書 □黒木 登志夫. 知的文章術入門 □都筑 学. 大学1年生のための 伝わるレポートの書き方 □河本 健, 石井 達也. トップジャーナル395編の「型」で書く医学英語論文～言語学的 Move 分析が明かした執筆の武器になるパターンと頻出表現 □田村房子. アクセプトされる英語医学論文作成術—最新の臨床研究から学ぼう! □酒井 聡樹. これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版 □木下 是雄. 理科系の作文技術 □井下 千以子. 思考を鍛えるレポート・論文作成法(第2版) 以上のいずれかは必ず読んでおくこと。 参考になるURL □JGME統一 投稿規定 http://www.jgme.ac.jp/
* オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)
* 教員への連絡方法	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
* その他	● コアカリキュラムへの対応 A-2 医学知識と問題対応能力 level 1 A-2-1) 課題探求・解決能力 level 1 学修目標：①必要な課題を自ら発見できる。②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。④課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 A-8 科学的探究 level 1 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 level 1 学修目標：①研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。③患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。④抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学科学研究等）に参加することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 level 1 A-9-1) 生涯学習への準備 level 1 学修目標：①生涯学習の重要性を説明できる。②生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。 ● 該当するコンピテンス 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level1 8. 科学的探究（智） level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇） level1 ● レポート評価者 多くの教員の陰のご尽力により成り立っている。 甲斐 理武、東島 沙弥佳、松原 勤、湯浅 秀人、千葉 秀平、金 明月、松本 早紀子、及川 大輔、清水 康平、寺脇 正剛、北西 卓磨、松本 英之、宮脇 寛行、高杉 征樹、山岸 良多、神谷 知憲、國本 浩之、小島 裕正、植松 未帆、藤本 康介、佐藤 慎太郎、石井 聡、鈴木 周五、藤岡 正喜、梯 アンナ、魏 民、松永 慎司、徳留 健太郎、山口 雄大、城戸 康年、中釜 悠、加賀谷 渉、仁木 満美子、坪内 泰志、老沼 研一、大藤 さとこ、加瀬 哲男、佐藤 恭子、柴田 幹子、吉田 寿子、小野寺 理恵、今井 匠 ● その他

* 【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMACLM1140-J1	
授業科目名	物理学の臨床医学への応用				
担当教員氏名	放射線診断：大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 三木幸雄 核 医 学：大阪市立大学大学院医学研究科 核医学 吉田敦史 放射線治療：大阪市立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学 澁谷景子				
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限	その他	
授業形態	講義				
科目分類					
配当年次	1年		単位数	0.4	

* 【シラバス情報】

授業概要	様々な病状診断や、がん治療において重要な役割を果たしている最先端の放射線医学を紹介しつつ、放射線医学の基礎となる物理学を学び、現在履修している物理学の延長線上に放射線医学があることを知る。
到達目標	臨床画像診断に重要な役割を担うCT・MRIなどの画像診断や、様々な放射線治療、核医学画像診断や放射線内用療法を知り、基礎となる医学物理を学ぶことで、放射線医学に興味を持つ。

授業回	各回の授業内容		事前・事後学習の内容
第1回	6/16・5限	三木幸雄	事前に大阪市立大学大学院医学研究科の放射線診断学・IVR学、放射線腫瘍学、核医学のホームページを閲覧し放射線診断、放射線治療、核医学が、どのような学問であるかをイメージしてから授業に望む事。
第2回	7/26・1限	澁谷景子	
第3回	7/28・4限	吉田敦史	

成績評価方法	出席の確認にて評価を行う。
履修上の注意	医学部規則により、学修態度が著しく悪い時、その授業への参加を認めないため、不合格になる場合がある。
教科書	必須の教科書はないが、事前に大阪市立大学大学院医学研究科の放射線診断学・IVR学、放射線腫瘍学、核医学のホームページを閲覧し放射線診断、放射線治療、核医学が、どのような学問であるかをイメージしてから授業に望む事が望ましい。
参考文献	特になし
オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)
教員への連絡方法	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	●コアカリキュラムへの対応 ・E-6) 放射線の生体影響と放射線障害 - E-6-1) 生体と放射線 ①、④、⑤ - E-6-2) 医療放射線と生体影響 ②、③ ・F-2) 基本的診療知識 - F-2-5) 基本的診療知識 ①、③ ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2.医学知識と問題対応能力（智・仁・勇）level1 6.医療の質と安全の管理（仁）level1 7.社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇）level1 8.科学的探究（智）level1 9.生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1

* 【科目情報】

授業コード			科目ナンバリング	AMACLM1140-J1	
授業科目名	物理学の臨床医学への応用				
担当教員氏名	放射線診断：大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学 三木幸雄 核 医 学：大阪市立大学大学院医学研究科 核医学 吉田敦史 放射線治療：大阪市立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学 澁谷景子				
開講年度・学期	2022	前期	曜日・時限	その他	
授業形態	講義				
科目分類					
配当年次	1年		単位数	0.4	

* 【シラバス情報】

授業概要	様々な病状診断や、がん治療において重要な役割を果たしている最先端の放射線医学を紹介しつつ、放射線医学の基礎となる物理学を学び、現在履修している物理学の延長線上に放射線医学があることを知る。
到達目標	臨床画像診断に重要な役割を担うCT・MRIなどの画像診断や、様々な放射線治療、核医学画像診断や放射線内用療法を知り、基礎となる医学物理を学ぶことで、放射線医学に興味を持つ。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回 6/16・5限	三木幸雄 放射線診断（画像診断）、放射線治療、核医学を紹介し、放射線医学の基礎となる物理学を学ぶ。	事前に大阪市立大学大学院医学研究科の放射線診断学・IVR学、放射線腫瘍学、核医学のホームページを閲覧し放射線診断、放射線治療、核医学が、どのような学問であるかをイメージしてから授業に望む事。
第2回 7/26・1限	澁谷景子	
第3回 7/28・4限	吉田敦史	

成績評価方法	出席の確認にて評価を行う。
履修上の注意	医学部規則により、学修態度が著しく悪い時、その授業への参加を認めないため、不合格になる場合がある。
教科書	必須の教科書はないが、事前に大阪市立大学大学院医学研究科の放射線診断学・IVR学、放射線腫瘍学、核医学のホームページを閲覧し放射線診断、放射線治療、核医学が、どのような学問であるかをイメージしてから授業に望む事が望ましい。
参考文献	特になし
オフィスアワー	10:00-16:00 (会議や出張で対応できない場合があるので、急用でない限り事前にアポイントメントをとること)
教員への連絡方法	Moodle上のメッセージ機能を使って教員に連絡すること
その他	●コアカリキュラムへの対応 ・E-6) 放射線の生体影響と放射線障害 - E-6-1) 生体と放射線 ①、④、⑤ - E-6-2) 医療放射線と生体影響 ②、③ ・F-2) 基本的診療知識 - F-2-5) 基本的診療知識 ①、③ ●該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 2.医学知識と問題対応能力（智・仁・勇）level1 6.医療の質と安全の管理（仁）level1 7.社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇）level1 8.科学的探究（智）level1 9.生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁・勇）level1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMACLM1142-J4
授業科目名	早期臨床実習1		
担当教員氏名	教務委員会		
開講年度・学期	2022	曜日・時限	その他
授業形態	実習		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	0.4

* 【シラバス情報】

* 授業概要	医療チームの一員として、将来共に働いていく看護職の役割と患者の入院環境を知る。
* 到達目標	専門的な知識や手技の修得を目的としたものではなく、患者に対する看護、介護を通してひとりの人間として患者の環境・立場を理解し、その中から、将来医師となるべき自分が今後何をなすべきかを自覚すること。働くうえで、患者-医療職間のコミュニケーションの重要性を理解する。

* 授業内容	8月 2日間（オリエンテーション含め3日間になる病院もあり）。 協力病院：本学医学部附属病院・大阪市立総合医療センター・弘済院附属病院・東住吉森本病院、ほか
* 事前・事後学習の内容	事前ガイダンスにて指示する。

* 成績評価方法	実習終了後レポートの提出（レポートの提出がない場合は、実習出席と認めない）。 (1) テーマ 「早期臨床実習Ⅰに参加して」（次の事柄を含めて書くこと）。 ① 感想 ② 特に勉強になった点 ③ 今回の経験をふまえた今後の指針 (2) 提出様式 用紙サイズ・・・A4（縦長で使用し横書きすること） そ の 他・・・テーマ・学籍番号・氏名は最初の2～3行で記入 表紙は付けないこと ※レポートは各実習先に送付する為、PCで作成すること。 (3) 提出方法 ウェブサイトを使用して提出。方法は、別途指示をする。
* 履修上の注意	注意事項 1. 白衣・名札を持参し、着用すること。 2. 病院の担当者・引率の教員の指示に従うこと。 3. 病院の規律と秩序を乱さないこと。 4. 私語を慎むこと。 5. 身だしなみは、将来医師となる者として、ふさわしいものを選ぶこと。 6. 手荷物は最小限にすること。 7. 実習中、携帯電話は持ち歩かないこと。 8. 欠席・遅刻・早退は原則として修了と認めない。 9. 実習に行く際の交通費は自己負担となる。 10. 抗体検査で陰性だった学生は、実習までに小児感染症ワクチンの接種を完了しておくこと。未接種の場合実習に参加することができない。

* 教科書	特になし
* 参考文献	特になし
* オフィスアワー	9:00-17:00
* 教員への連絡方法（メールアドレス等）	学務課 (i-gakumu@med.osaka-cu.ac.jp)
* その他	各病院業務多忙のなか実習協力が得られたものであるため、本学医学生部生として即座に休み、真摯な態度で実習に臨むこと。 ● コアカリキュラムへの対応 A 医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-5 チーム医療の実践 A-6 医療の質と安全の管理 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇） level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level1 5. チーム医療の実践（仁） level1 6. 医療の質と安全の管理（仁） level1 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇） level1 8. 科学的探究（智） level1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMACLM1141-J1
授業科目名	早期臨床医学入門 (1回生から始めるプライマリケア外来診断学)・早期診療所実習		
担当教員氏名	早期臨床医学入門： 教務委員会 担当教員：板金広（いたがねファミリークリニック） 板金広（いたがねファミリークリニック） 松村榮久（松村医院） 嶋田一郎（嶋田クリニック） 藤岡雅司（ふじおか小児科） 桜井隆（さくらいクリニック） 佐田竜一（亀田総合病院総合内科） 谷知子（神戸市看護大学 専門基礎科学領域 医科学分野） 香月憲一（学園南クリニック） 小林正宜（葛西医院） 早期診療所実習： 教務委員会、医学部同窓会指導医		
開講年度・学期	2022	曜日・時限	その他
授業形態	混合		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	1.9

* 【シラバス情報】

* 授業概要	早期臨床医学入門： 症候診断学だけでなく、予防接種や認知症や終末期診療などを通してチーム医療や医療連携、あるいは患者中心の医療に必要な医師の素養（リーダーシップ、人間力、プロフェッショナリズムなど）についても触れる。また実際の臨床場面において必要な基礎医学（解剖学、生理学、病理学など）との関連を示し、今後学ぶ基礎医学の重要性を理解する。 早期診療所実習： 地域医療の特性ならびに予防医療、福祉連携等を体験するために、医学部同窓会協力のもと、地域の診療所における実習を行う。
* 到達目標	早期臨床医学入門： 前半の授業では、夏期に行われる早期診療所実習のオリエンテーションを行う。プライマリケアの最前線ともいえる診療所での見学実習・研修を通して、診療所医療の独自性・重要性、医師のやりがいや醍醐味が体験できるように必要な準備知識を培う。秋季の授業では、地域医療で必ず出会う頭痛や風邪などの普遍的症候から診断を行う過程を疑似経験し、医師として基本的に必要な技能である①患者の観察能力、②医療面接の基本、③臨床推論、④患者とのコミュニケーション、⑤身体診察法、⑥鑑別診断の考え方を学ぶ。 早期診療所実習： 医師として備えるべき基本姿勢を身につけるとともに、医師・患者関係を理解することを目標とする。
* 授業内容	早期臨床医学入門： 6月～1月の木曜午後（日程詳細は掲示板にて通知する） 早期診療所実習： 各診療所の指導医に委ねる。 8月～9月の夏期休業中1日。空きがあれば複数の診療所に行っても構わない。
* 事前・事後学習の内容	早期臨床医学入門： （1回生から始めるプライマリケア外来診断学）の授業内で診療所実習の心構え・患者とのコミュニケーション等のオリエンテーションを行う。
* 成績評価方法	早期臨床医学入門： 各講義の出席点と学期末試験の合計点で評価する。 再履修生の評価方法は、本科目を再履修となった学生は、平常の授業に加え、特別な実習プログラムを受講し、それも含めて最終評価を行う。 早期診療所実習： ①時間厳守 ②身だしなみ ③あいさつ を評価表にて指導医に評価いただく。 学生は実習前にプレアンケート、実習終了後にポストアンケートを学務課宛提出する。

* 履修上の注意	早期臨床医学入門：この講義では学生諸君を社会人として扱うので、授業への遅刻、途中退室、授業中の携帯操作、飲食、私語などを認めない。 早期診療所実習： 業務多忙の中、実習協力が得られたものであるため、御厚意に感謝することを忘れず、真摯な態度で実習に臨むこと。 実習先の医師（指導医）は、君たち学生に有意義な体験をしてもらいたいと思っています。実習先のスタッフや、患者さんも協力的に接してくれるでしょう。 もちろん君たちの熱意があつてのことです。君たちはそのような期待を裏切らないような言葉、行動につとめてください。 注意事項 1. 実習の数日前（少なくとも5日前まで）に、診療所に電話連絡し、自己紹介した上で、実習をしていただけることに対してお礼を述べる。当日の来院時刻と場所を再確認する。 2. 実習当日は来院時刻を厳守すること（基本は10分前到着）。 3. 身だしなみは、将来医師となる者として、ふさわしいものを選ぶこと。 4. 名札・白衣を持参し着用すること。 5. 指導医の指示に従うこと。 6. 診療所の規律と秩序を乱さないこと。 7. 患者様の前では私語を慎むこと。 8. 実習中携帯電話は持ち歩かないこと。 9. 欠席、遅刻、早退は原則として修了と認めない。 10. 各診療所への交通費は自己負担となる。 11. 抗体検査で陰性だった学生は、実習前に小児感染症ワクチン接種を完了しておくこと。ワクチン未接種の場合実習には行くことができない。
* 教科書	早期臨床医学入門：講義開始30日前までに学務課を通じて提示する。
* 参考文献	なし
* オフィスアワー	9:00-17:00
* 教員への連絡方法（メールアドレス等）	学務課（i-gakumu@med.osaka-cu.ac.jp）
* その他	早期臨床医学入門： ● コアカリキュラムへの対応 A 基本事項 A-4 コミュニケーション能力 A-5 チーム医療 B 社会と医学・医療 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇） level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level1 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇） level1 9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢（智・仁） level1 早期診療所実習： ● コアカリキュラムへの対応 G 臨床実習 G-4 診療科臨床実習 G-4-3) 地域医療実習 ● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応 1. プロフェッショナリズム（智・仁・勇） level1 2. 医学知識と問題対応能力（智・仁・勇） level1 3. 診療技能と患者ケア（智・仁・勇） level1 4. コミュニケーション能力（智・仁・勇） level1 5. チーム医療の実践（仁） level1 6. 医療の質と安全管理（仁） level1 7. 社会における医療の実践と大阪住民の幸福に貢献する力（智・仁・勇） level1

* 【科目情報】

授業コード		科目ナンバリング	AMXCLM11002-J4
授業科目名	心肺蘇生法実習		
担当教員氏名	教務委員会、ライフサポートクラブ(LSC)		
開講年度・学期	2022	曜日・時限	その他
授業形態	実習		
科目分類			
配当年次	1年	単位数	0.1

* 【シラバス情報】

* 授業概要	目前で発生した心肺停止などの緊急事態に際して、心肺蘇生法の意義を理解して施行できる。医療行為にかかわることで、将来医師になる自覚を萌芽(1年生)・再確認(4年生)させる。 さらに1年生を指導することで、4年生にTeaching is Learning効果を体感させる。これにより、医師は常に「教育者」であることを自覚させる。
* 到達目標	1. 一次救急処置の概略を説明できる。 2. 傷病者の意識の確認ができる。 3. 119番通報とAEDの要請ができる。 4. 気道の確保ができる。 5. 呼吸の確認ができる。 6. 胸骨圧迫心臓マッサージができる。 7. AEDを使用できる。

* 授業内容	各学年を4グループに分け実施する。グループ分けは掲示板にて周知する。 開講日 掲示板にて周知する。 前半グループ開始時間：17：00～18：00 後半グループ開始時間：18：10～19：10 場 所 スキルズシミュレーションセンター 1年生は開始10分前にメディックスビル8階会議室2へ集合 4年生は開始30分前にスキルズシミュレーションセンター内アネックス集合
* 事前・事後学習の内容	4年生で後輩指導に自信のない人は、最寄りのLSCメンバーに相談して、実習日までに復習しておくこと

* 成績評価方法	実習への参加、小テスト、アンケート記入をもって修了とする。
* 履修上の注意	動きやすい服装を着用すること（スカートやヒール靴を避けること）
* 教科書	特になし
* 参考文献	特になし
* オフィスアワー	9:00-17:00
* 教員への連絡方法（メールアドレス等）	学務課 (i-gakumu@med.osaka-cu.ac.jp)

*

その他

1年生のみなさんも3年後には INST 側にまわるので、教え方も十分に観察しておくこと。

● コアカリキュラムへの対応

A 医師として求められる基本的な資質・能力

A-2 医学知識と問題対応能力

A-2-2) 学修の在り方

G 臨床実習

G-3 基本的臨床手技

G-3-4) 救命処置

G-4-4) シミュレーション教育

● 該当するコンピテンスおよびマイルストーンへの対応

3.診療技能と患者ケア (智・仁・勇) level1

5.チーム医療の実践 (仁) level1

6.生涯にわたる学習と発展 (知・仁・勇) level1

大阪公立大学医学部医学科

学務課

TEL 06-6645-3611(直通)

FAX 06-6646-3590

<http://www.med.osaka-cu.ac.jp>